

目 次

「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、該当ページまで移動します。

<u>出席委員</u>	2
<u>保健福祉課の予算審査</u>	5
<u>子ども支援課の予算審査</u>	21
<u>町民課の予算審査</u>	33
<u>生活安全課の予算審査</u>	41
<u>上下水道課の予算審査</u>	51
<u>総括質疑及び現地調査箇所の選定</u>	58

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。

このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場合があります。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

平成28年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第3号）

平成28年3月8日（火曜日）

出席議員（1名）

議長 櫻井正人君

出席委員（16名）

委員長 後藤哲君

副委員長 遠藤紀子君

委員 鈴木晴子君

西澤文久君

小淵洋一郎君

安田知己君

木村範雄君

土村秀俊君

吉岡伸二郎君

高久時男君

鈴木忠美君

吉田裕哉君

永野涉君

及川智善君

郷右近隆夫君

羽川喜富君

欠席委員（渡辺幹雄君）

説明のため出席した者

副町長

伊藤三男君

財務課長

小山田春彦君

保健福祉課

課長

菅井百合子君

福祉班長

折笠ゆき江君

福祉班主幹

谷津匡昭君

福祉班技術主幹

岩田和子君

健康づくり班長

伊藤文子君

健康づくり班技術主幹

小畑香代君

健康づくり班主任技術主査

守山明子君

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

長寿介護班長	嶋 正美 君
長寿介護班主幹	佐藤 幸子 君
長寿介護班技術主幹	鈴木 美枝子 君
子ども支援課	
課 長	櫻井 やえ子 君
子ども支援班長	鈴木 久仁子 君
子ども支援班主査	佐藤 瑞穂 君
子ども支援班技術主査	酒井 裕子 君
菅谷台保育所長	青柳 久美子 君
子ども未来班長	鎌田 輝久 君
子ども未来班主任主査	利 玲子 君
東部地区子育て支援センター所長	櫻井 明子 君
町民課	
課 長	庄司 幾子 君
参事兼戸籍住民班長	阿部 智子 君
保険年金班長	伊藤 香 君
保険年金班主査	土屋 俊介 君
保険年金班主査	伊藤 めぐみ 君
生活安全課	
課 長	村田 政文 君
環境生活班長	鈴木 啓義 君
環境生活班主事	渡邊 弘嗣 君
防災安全班長	鈴木 則昭 君
防災安全班主幹	鈴木 厚広 君
上下水道課	
課 長	阿部 義弘 君
経営班長	鈴木 義光 君
経営班主任主査	小野寺 厚人 君
経営班主査	佐藤 恵 君
工務班長	名取 仁志 君

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

工務班主任主査 櫻井新也君

工務班主査 後藤俊寿君

議会事務局職員出席者

事務局長 阿部善男君

主任主査 櫻井渉君

主事 引地恭介君

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

午前9時26分 開 議

○委員長（後藤 哲君） おはようございます。

これより予算審査特別委員会を再開します。

審査日程表により進めてまいりますので、円滑な議事運営に御協力をお願いいたします。

本日、会議規則第2条の規定により渡辺幹雄委員より欠席届が提出されております。

ただいまの出席委員は16名です。

審査に入る前に委員各位に申し上げます。質疑に当たっては1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には、質疑が一巡した後にお願いします。また、質疑の際はわかりやすく簡潔をお願いいたします。さらに、質疑が重複しないよう関連質疑で対応するようお願いいたします。

予算の審査でありますので、趣旨を逸脱しないようお願いいたします。

それでは、審査日程表により**保健福祉課の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、保健福祉課長より本日出席している説明員の紹介を願います。保健福祉課長。

○保健福祉課長（菅井百合子君） おはようございます。それでは、本日出席しております保健福祉課の説明員を紹介いたします。

初めに、福祉班から紹介いたします。福祉班長の折笠ゆき江です。（「折笠です。よろしくお願ひいたします。」の声あり）

主幹の谷津匡昭です。（「谷津です。よろしくお願ひいたします。」の声あり）

技術主幹の岩田和子です。（「岩田です。よろしくお願ひいたします。」の声あり）

続きまして、健康づくり班を紹介いたします。健康づくり班長の伊藤文子です。（「伊藤です。よろしくお願ひいたします。」の声あり）

技術主幹の小畑香代です。（「小畑です。よろしくお願ひいたします。」の声あり）

主任技術主査の守山明子です。（「守山です。よろしくお願ひいたします。」の声あり）

続きまして、長寿介護班を紹介いたします。長寿介護班長の嶋 正美です。（「嶋です。よろしくお願ひいたします。」の声あり）

主幹の佐藤幸子です。（「佐藤です。よろしくお願ひいたします。」の声あり）

技術主幹の鈴木美枝子です。（「鈴木です。よろしくお願ひいたします。」の声あり）

私、保健福祉課長の菅井百合子です。よろしくお願ひいたします。

○委員長（後藤 哲君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。保健福祉課長。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

○保健福祉課長（菅井百合子君） それでは、平成28年度保健福祉課関係の当初予算について御説明いたします。

初めに、一般会計予算の歳入から御説明申し上げます。平成28年度利府町各種会計予算説明書①の8ページをお開き願います。

13款1項2目民生費負担金1節老人福祉費負担金544万5,000円でございますが、養護老人保護措置費負担金97万3,000円と青葉台デイサービスセンターの施設管理のための負担金442万7,000円及び町営住宅生活援助員派遣負担金4万5,000円を計上しております。

次に、9ページをごらんください。

14款1項2目民生使用料1節行政財産使用料のうち保健福祉センター使用料につきましては、自動販売機の設置分の使用料といたしまして16万7,000円を計上しております。

11ページをお開きください。

15款1項1目民生費国庫負担金1節社会福祉費負担金1億4,536万2,000円につきましては、障害者自立支援医療費及び障害者自立支援給付費に要する事業費の2分の1の負担率で計上しております。3節児童福祉費負担金のうち、12ページの障害児施設給付費等負担金5,561万6,000円につきましては、児童発達支援等の障害児施設給付費等に要する事業費の2分の1の負担率で計上しております。

次に、5節低所得者介護保険料軽減負担金137万6,000円につきましては、低所得の高齢者の保険料軽減に係る事業費の2分の1の負担率で計上しております。

13ページをごらんください。

15款2項2目民生費国庫補助金1節社会福祉費補助金812万8,000円につきましては、障害者、障害児の日常生活用具給付事業や移動支援事業など地域生活支援事業に要する事業費の2分の1の補助率で計上しております。

次に、2節臨時福祉給付金給付事業費補助金、3節臨時福祉給付金給付事務費補助金につきましては、平成27年度に引き続き消費税引き上げによる影響緩和のため実施する臨時的給付事業に要する事業費及び事務費の10分の10の補助率で計上しております。

続きまして、4節児童福祉費補助金のうち乳児家庭訪問事業費補助31万5,000円及び養育支援訪問事業費補助4万6,000円につきましては、事業費の3分の1の補助率で計上しております。

次に、14ページをお開きください。

3目衛生費国庫補助金1節疾病予防対策事業費等補助金222万4,000円につきましては、乳が

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

ん、子宮頸がん検診等に要する事業費の2分の1の補助率で計上しております。

15ページをごらんください。

16款1項1目民生費県負担金1節社会福祉費負担金7,268万1,000円につきましては、障害者自立支援医療費及び給付費の県負担分として事業費の4分の1の負担率で計上しております。

3節児童福祉費負担金のうち、16ページをごらんください。障害児施設給付費等負担金2,780万8,000円につきましては、事業費の4分の1の負担率で計上しております。

5節低所得者介護保険料軽減負担金68万8,000円につきましては、事業費の4分の1の負担率で計上しております。

次に、16款2項1目総務費県補助金1節市町村振興総合補助金のうち在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業費補助17万6,000円につきましては事業費の2分の1の補助率で、難聴児補聴器購入助成事業費補助3万6,000円及び市町村献血推進事業費補助9万円につきましては、事業費の3分の1の補助率で計上しております。また、17ページの食育実践地域活動支援事業費補助1万1,000円及び知的障害者グループホーム体験ステイ推進事業費補助29万6,000円につきましては、事業費の2分の1の補助率で計上しております。

次に、2目民生費県補助金1節社会福祉費補助金413万6,000円につきましては、平成28年度が民生委員・児童委員の一斉改選の時期に当たることから、民生委員推薦会事業補助として7万2,000円を計上しております。また、地域生活支援事業費補助406万4,000円につきましては、事業費の4分の1の補助率で計上しております。

次に、2節老人福祉費補助金131万6,000円につきましては、老人クラブ事業費補助として事業費の3分の2の補助率で、低所得者対策事業費補助として事業費の4分の3の補助率で計上しております。

18ページをお開きください。

3目衛生費県補助金1節被災者健康支援事業費補助金658万1,000円につきましては、民間賃貸住宅等の借り上げ住宅にお住まいの被災者への訪問事業として実施する仮設住宅入居者等健康支援事業費補助と、若年層を対象とした健康診査事業として実施する被災者特別健診事業費補助として、事業費の10分の10の補助率で計上をしております。

次に、2節自殺対策緊急強化事業補助金18万1,000円につきましては、事業費の2分の1の補助率で計上をしております。

次に、3節健康増進事業等補助金252万3,000円につきましては歯周疾患健診、肝炎ウイルス検診及び健康教育事業等に要する補助金といたしまして事業費の3分の2の補助率で計上して

おります。

21ページをお開きください。

17款1項2目利子及び配当金1節利子及び配当金のうち、社会福祉基金の利子として13万7,000円を計上しております。

23ページをお開きください。

19款2項4目社会福祉基金繰入金1節社会福祉基金繰入金1,597万円につきましては、健康日本21計画策定事業、保健福祉センター事務室の床交換事業、教養娯楽室の暗幕設置、マッサージ器購入事業に基金を取り崩すものでございます。

24ページをお開きください。

21款3項2目民生費貸付金元利収入1節民生費貸付金元利収入のうち、災害援護資金貸付金486万円につきましては、災害援護資金の償還金でございます。

25ページをごらんください。

5項3目雑入1節受講料のうち栄養教室等6万4,000円につきましては、調理実習に係る自己負担分を計上しております。

2節検診徴収金59万7,000円につきましては大腸がん検診等に係る自己負担分を計上しております。

3節健康診査事業委託金420万8,000円につきましても後期高齢者医療広域連合からの特定健康診査にかかる委託金を計上をしております。

26ページをお開きください。

22款1項2目民生費1節災害援護資金貸付金340万円につきましては、東日本大震災の被災者に融資する災害援護資金の貸付原資として県からの借入金を計上しております。

続いて、歳出の主な項目について御説明をいたします。

56ページをお開きください。

3款1項1目社会福祉総務費につきましては、社会福祉事業及び生涯福祉事業に要する経費として、前年度より4.3%増の5億4,372万3,000円を計上しております。

58ページをお開きください。

増額の主な要因といたしましては、20節扶助費におきまして、介護給付費としての居宅介護及び短期入所、障害児給付費としての放課後等児童デイサービスの利用者並びに利用日数等の増加によるものでございます。

2目高齢者福祉費につきましては、一般の高齢者福祉事業に要する経費として、前年度より

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

2.6%減の5,393万円を計上しております。減額の主な要因といたしましては、20節扶助費の老人保護措置費が入所者の増により増額となっておりますが、職員人件費及び食の自立支援事業を介護保険特別会計に組みかえを行ったことによるもの、また、敬老祝い金の見直しにより減額となったものでございます。

62ページをお開きください。

4目保健福祉センター管理費につきましては、管理運営に要する経費として前年度より30.1%増の4,198万2,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、15節工事請負費におきまして保健福祉センター教養娯楽室の暗幕設置工事及び事務室床の交換工事の各事業費、また、18節備品購入費に施設用備品購入費を計上したことによるものでございます。

63ページをごらんください。

7目介護保険事業費につきましては、介護保険運営に要する一般会計分として前年度より1.1%減の2億9,938万6,000円を計上しております。減額の主な要因といたしましては、前年度の制度改正に伴うシステム改修が終了したことによる経費の減によるものでございます。

64ページをお開きください。

10目臨時福祉等給付金事業費につきましては、3,812万3,000円を計上しております。平成27年度に引き続き、国の緊急経済対策事業として消費税増税の影響緩和のため臨時的な措置として給付事業を実施するものでございます。今回は町民税の均等割が課税されていない方に対し1人当たり3,000円と、障害年金または遺族年金の受給者に3万円を加算し給付するもので、これらの事務執行に係る委託料などの事務的経費及び給付金を計上しているところでございます。

74ページをお開きください。

3款3項1目災害救助費につきましては、前年度より34.7%増の465万5,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、13節委託料に災害援護資金貸付管理システムの導入費用120万円を計上したことによるものでございます。

4款1項1目保健衛生総務費につきましては、職員人件費のほか保健事業の事務に要する経費として、前年度より10.6%減の9,017万1,000円を計上しております。減額の主な要因といたしましては、職員人件費の減及び平成27年度において実施した健康管理システムの改修が終了したことによる経費の減によるものでございます。また、第3期健康日本21利府町計画策定に要する経費として委託料等を計上しており、第3期健康日本21利府町計画利府町食育推進計画として策定をすることとしております。計画策定に当たりましては、平成27年度に実施した住

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

民意調査、また特定健診を初めとする健康と食に関するデータの収集、分析を行い、国、県等の計画との整合性を図りながら策定を進めてまいります。なお、策定に当たりましては委員18名で組織します計画策定懇話会を開催をする予定としております。

75ページをごらんください。

2目予防費につきましては、予防接種などの予防事業に要する経費として前年度とほぼ同額の1億148万8,000円を計上しております。

76ページをお開きください。

3目健康増進事業費につきましては、各種健診に要する経費として前年度より1.8%増の7,248万1,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、後期高齢者の健康検査、結核、肺がん検査などの受診者増によるものとなっております。なお、新たなステージに入ったがん検診の総合推進事業としての乳がん、子宮頸がん検診事業を実施するほか、その他の各種健康診査、がん検診につきましても前年度と同様に実施をしております。

78ページをごらんください。

4目母子衛生費につきましては、母子保健事業に要する経費として、前年度とほぼ同額の3,901万7,000円を計上しております。子供を安心して産み育てられるよう引き続き妊婦健診、乳幼児健診など母子衛生事業を実施してまいります。

以上が、平成28年度一般会計予算でございます。

引き続き、介護保険特別会計予算について御説明を申し上げます。

平成28年度利府町各種会計予算説明書②の27ページをお開きください。

平成28年度介護保険特別会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ18億9,305万8,000円で、前年度より8,267万3,000円、4.6%の増となっております。

初めに、歳入の主な項目を御説明いたします。

29ページをお開きください。

1款1項1目第1号被保険者保険料4億5,184万8,000円につきましては、被保険者数の増加に伴い前年度より424万1,000円の増となっております。

3款1項1目介護給付費負担金3億1,235万円につきましては、保険給付費の増加に伴い前年度より2,110万4,000円の増となっております。

3款2項2目介護予防地域支援事業交付金392万4,000円につきましては、地域支援事業費及び予防事業費の増に伴い前年度より342万7,000円の増となっております。

次に、3目包括的地域支援事業交付金1,606万5,000円につきましては、地域包括支援センタ

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

一の運営に伴う経費や、生活支援体制整備に伴う事業費の増により前年度より350万6,000円の増となっております。

30ページをお開きください。

4款1項1目介護給付費交付金4億8,787万円につきましては、保険給付費の増加に伴い、前年度より3,110万6,000円の増となっております。

次に、2目地域支援事業交付金439万5,000円につきましては、地域支援事業に係る人件費及び予防事業費の増に伴い、前年度より383万9,000円の増となっております。

5款1項1目介護給付費負担金2億5,392万8,000円につきましては、保険給付費の増加に伴い前年度より1,500万2,000円の増となっております。

31ページをごらんください。

7款1項1目介護給付費繰入金2億1,779万9,000円につきましては、法定負担分の保険給付費の増加に伴い前年度より1,388万7,000円の増となっております。

次に、4目その他一般会計繰入金6,533万円につきましては、地域支援事業費への人件費の組みかえ、平成27年度の制度改正に伴うシステム改修費等の減により、前年度より2,652万1,000円の減となっております。

続いて、歳出の主な項目を説明をいたします。

33ページをお開きください。

1款1項1目一般管理費につきましては、前年度より47.9%減の3,342万円を計上しております。減額の主な要因といたしましては、介護保険制度改正に伴うシステム改修業務、社会保障番号制度に対応するシステム改修業務について、平成27年度実施分の業務が完了したことにより減となったものでございます。

34ページをお開きください。

1款3項1目介護認定審査会費につきましては、前年度より5%増の1,861万7,000円を計上しております。増額の要因といたしましては、塩釜地区消防事務組合介護認定審査会事業負担金の増に伴うものでございます。

35ページをごらんください。

次に、2款1項1目居宅介護サービス等給付費につきましては、前年度より9%増の7億5,199万2,000円、3目施設介護サービス給付費につきましては、前年度より3.1%増の6億4,800万円、4目介護サービス計画給付費につきましては前年度より17.4%増の9,000万円を計上しております。各介護サービス給付費の増額の主な要因といたしましては、サービス利用者

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

の増加に伴うものでございます。

36ページをお開きください。

2款2項1目介護予防サービス等給付費につきましては、前年度より18.7%増の4,270万8,000円、2款4項1目高額介護サービス費につきましては、前年度より43.6%増の3,504万円を計上しております。いずれも増額の主な要因といたしましては、利用者の増によるものでございます。

37ページをごらんください。

2款5項1目特定入所者介護サービス費につきましては、前年度より4.2%増の7,440万円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、施設入所者数の増に伴うものでございます。

38ページをお開きください。

5款1項1目介護予防高齢者施策事業費につきましては、1,569万6,000円を計上しており、前年度より1,371万1,000円の増となっております。増額の主な要因といたしましては、1款1項1目一般管理費から職員1名の人件費の組みかえと介護予防サポーター養成講座、いきいきシニアの体操、脳トレ教室などの介護予防事業費の計上によるものでございます。

39ページをごらんください。

5款2項1目包括的支援事業費につきましては、前年度より37%増の3,378万8,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、新総合事業の構築に向け、地域支え合いの発掘や活動と関係者や関係機関等のネットワークを通じ、暮らしやすい環境づくりの推進を担う生活支援コーディネーターを設置するとともに、高齢者の身近な相談窓口となる包括支援センターを1カ所増設し、高齢者の包括的な支援の充実を図るため、委託料を計上したことによるものでございます。

2目包括的任意事業費につきましては、前年度より42.9%増の1,079万円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、高齢者支援事業の拡充として食の自立支援事業について、週1回の配食サービスから週2回への拡充に合わせ、一般会計での予算措置から介護保険の包括的任意事業として実施するものでございます。

以上が介護保険特別会計の予算でございます。これで保健福祉課所管の予算説明を終わります。よろしく御審議のほどお願いを申し上げます。

○委員長（後藤 哲君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。13番及川委員。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

○及川智善委員 それでは2点ほど質問させていただきます。1点目は63ページ、保健福祉センターの管理費でございます。工事請負ということで15節、保健福祉センターの教養娯楽室の暗幕設置工事と保健福祉センターの事務室床の交換工事について、仕様等含めて内容を簡単にかいつまんで教えてください。

それから64ページですね、これはこの間の補正予算の話でもしたんですけれども、臨時福祉等の給付金の事業、これは補正予算のほかにも本予算として250万円時間外勤務手当ということで計上しています。それと、前回の200万円と合わせて450万円近くが時間外勤務手当ということで、どうみてもやっぱり突出しているんですね。ほかの介護保険なんかも説明をお聞きしましたけれども、こんなに突出しているところはないと。それと合わせて臨時職員4名で賃金を187万2,000円、この臨時福祉等給付金に支出の予定と予算を組んでおります。ということは、時間外勤務手当を払いながら、なおかつ賃金の臨時職員の分も187万円のお手伝いをいただいているということで、かなりこれは中身はこの間福祉課長とお話ししたとおりだと思うんですが、6月までにやらなければならないシステム改修といろいろな恒常業務と相まってなかなか大変な仕事だということは理解しておりますが、予算上で見たときにかなりこの部分に予算編成が計上されているんじゃないかと思ってお尋ねします。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を求めます。谷津主幹。

○保健福祉課福祉班主幹（谷津匡昭君） それでは及川委員のご質問にお答えいたします。

まずセンター管理費の工事費でございますが、まずセンターの教養娯楽室暗幕の設置工事でございますが、こちらに関しましては教養娯楽室のステージ部分にあります暗幕でございますが、経年劣化のために裂けてきたりとかしておりますので、一式を新しく交換設置することとございます。一文字幕からバック幕まで全てということになります。

続きまして、事務室の床の交換工事でございますが、こちらにつきましては経年劣化とあわせて震災の影響もございまして、今現在かなりゆがんでいる状態でございます。そのため、既存OAフロアの撤去を行いまして、新しいOAフロアを設置するとともにタイルカーペットを敷くというふうな作業になります。

次に、2点目の臨時福祉給付金のほうでございますが、まず時間外につきましては平成27年度の実績をもとに積算をしております。28年度におきましては、2つの給付事業を実施いたしますが、上期につきましては6月、今回計上しております下期分につきましては10月からの支給をということで国からの方針が打ち出されております。このため、通常業務に加えて対象者の抽出から発送まで、また申請受付から口座振り込みまでの期間が短いということで、通常業

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

務に加えて臨時的、短期集中の事務処理となりますので、時間外を計上しております。なお、昨年につきましては臨時福祉給付金、こちらの事務は保健福祉課で初めて行ったということもございますので、28年度につきましては、昨年の経験をもとに事務処理の簡素化を図りながら時間外の削減に努めてまいりたいと思います。

賃金につきましては、こちら4名分ということで計上しておりますが、こちらに関しては主に中心には申請受付を行っていただくというふうなことになります。申請受付とか簡易的なものはやっていただけますけれども、職員のほうで最終的な対象者かどうか、また口座のほうのチェックとかそういったところはどうしても職員でやらなくてはいけない部分がございますので、その線引きというかそういったものをしながら適切な分担をしながら事務のほうを進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（後藤 哲君） 及川委員。

○及川智善委員 まず、工事請負のほうなんです、金額が1,060万円ということでこれは入札でやるか随契でやるかわかりませんが、結構今聞くとステージの暗幕ということで、そんなに大きいものではないと思うんですけども、どれだけの、過去というかあれなんです、暗幕そのものの交換とそれから床の交換工事のこの1,000万円の金額それぞれ、ちょっと内容を知りたかったんですけども、どれぐらいを見積もっているのかというのはここで言えないんですかね、入札の関係で、わかりました。ではいいです。

若干、では中身の話で、事務室のフロアのタイルカーペットの平米数はどれぐらいかということだけちょっと教えてください。それから暗幕の規格だけ教えてください。

それから2個目の臨時福祉等給付事業については、これは去年というか先ほどというか今回の議会でやった補正予算というのは確かこの部分だったと思うんですけど、去年の分を踏まえてということの話でしたが、その200万円ちょっとの話で200万4,000円でしたか、200万円ちょっとの話と、この250万5,000円というのは、これは10月までの分も含めてということなんです、かぶさっている部分というのはないんですかね。つまり補正予算で臨時福祉等給付事業金として補正予算で可決した部分の200万円と今回の6月10月に支払予定の計上している分の250万5,000円と時間外勤務手当は予算計上、二重というのかかぶさっていないですか。何か今お聞きすると去年は去年のを踏まえてということだったんですけど、補正予算で200万円、それから臨時職員に関してはそれを補完する役目ということで、窓口対応ということでお聞きしました。これは窓口対応だけで、その給付金の、つまり支給に関しては全然携わらないということによ

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

ろしいですね。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。1点目の金額のほうと規格等でお答え願います。谷津主幹。

○保健福祉課福祉班主幹（谷津匡昭君） OAフロアのほうの関係でございますが、こちらにつきましては192平米となっております。以上です。（「あとは規格」の声あり）失礼いたしました。暗幕の規格につきましては、一文字幕が7,000の900、源氏幕につきましては900の2,850、引き割り幕につきましては3,750の3,180、見切り幕につきましては1,300の3,280、かすみ幕につきましては7,000の900、バック幕につきましては3,750の3,180、裏の部分はカーテンとなりますがバック幕につきましては3,100の2,840ということで、規格のほうをとっております。

以上です。

○委員長（後藤 哲君） 福祉班長。

○保健福祉課福祉班長（折笠ゆき江君） それでは及川委員に臨時給付金の時間外の件をお答え申し上げます。この臨時給付金、当初に乗せている給付金の分は、まず当初作成時までちょっと担当課のどこで所管するかというのが、ちょっともめたところもございまして、ぎりぎりまで決まらなかったところもあります。それで、この給付金をやるに当たって、このくらい経費がかかるだろうというところで、まず算定をしております。補正予算で上げました給付金の分とはまた別なものになりまして、こちらのほうはまた対象者も変わってきますので、この事業をやるに当たって時間外もこのくらいになるだろうということで、まずは暫定の算定ということで計上しております。ぎりぎりになって、保健福祉課のほうでまたことしもやるということになって福祉課の分の予算となりましたが、確かに時間外だけを見ると倍近く以上の金額が時間外としてなっているようなんですけれども、算定した基準、場面がちょっと違ったというところで、こちらのほう御理解いただければなと思います。

あと臨時職員の業務ですか、それに関しては臨時給付金の支給というところまでは業務には携わりませんが、受付業務、あとは確認業務、入力したあとのデータチェック、そちらのほうもしていただくようにはなります。

以上です。

○委員長（後藤 哲君） 及川委員。

○及川智善委員 工事については、恐らくというかかなりのウエイトが暗幕のほうに行っているということはわかりました。それで、今の時間外についての答弁内容なんですが、ちょっとよく、なぜというところが積算の仕方が、つまり職員一人当たりの時間をどれぐらいで時間外勤

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

務手当てを見積もったのか、掛けるいくつかの単価で250万円というのが出ると思うんですけども、職員がどれぐらいの時間を残業してやると。前のと合わせて考えているのか。かなり過重な労働が予定されているように感じるんですね。10月の最後の支給までですね。半年しかないわけですから、その間に割っていってもかなりの時間数なんですけれどもこの時間数は何人でどれぐらいの時間を見積もっていたのか教えてください。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。谷津主幹。

○保健福祉課福祉班主幹（谷津匡昭君） 及川議員の質問にお答えいたします。

時間外につきましては、4時間を75日分3名で計算をしております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。1番鈴木晴子議員。

○鈴木晴子委員 3点お伺いいたします。

まず、63ページの3款1項4目18節の備品購入費なんですけれども、こちらの施設用備品の内容を教えてください。

それから、77ページの4款1項3目13節の委託料の一番下の無料クーポン券作成業務委託料なんですけど、こちら昨年度は78万9,000円だったんですけど、今年度は49万1,000円ということで、30万円近く下がっているのこちらの理由を教えてください。

あと、最後が②のほうの39ページなんですけど、5款2項1目の12節地域包括支援センター関係なんですけれども、こちらの場所のほうがわかれば教えていただきたいと思います。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。谷津主幹。

○保健福祉課福祉班主幹（谷津匡昭君） 鈴木委員の御質問にお答えいたします。

センター管理費の18節備品購入費でございますが、こちらに関しましてはマッサージ器になります。高齢者のほうの部分ですね、お風呂側のほうでございますマッサージ器が経年劣化のために表面上が裂けてきたりとかしておりますので、こちらのほうを快適に利用される方に御使用いただけるようにということで、新規に購入するというところでございます。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 伊藤班長。

○保健福祉課健康づくり班長（伊藤文子君） お答えいたします。

77ページの無料クーポン券の作成業務委託料の件につきましては、前年度も組みまして子宮がん、それから乳がん検診等のクーポンを作成させていただいているんですけど、その実績に伴って減にさせていただいております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 3点目、嶋班長。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

○保健福祉課長寿介護班長（嶋 正美君） 3点目の質問にお答えします。

今の御質問のほうなんです、地域包括センターの増設分の設置箇所ということによろしいでしょうか。そちらのほうにつきましては、地域包括センターのほう、町内を中学校区のほうで今検討しております。その中学校区にした際の高齢化率等を考えまして、これからもう少し検討を進めていって配置の箇所を決めるということになっております。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） 鈴木晴子議員。

○鈴木晴子委員 一番最初の備品ですけれども、マッサージ器何台の設置だったのかを教えてください。それから最後の地域包括のほうなんですけれども、中学校区ということはわかりましたが、一カ所増設ということだったので、その地域だけでも決まっていれば教えていただきたいと思います。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 谷津主幹。

○保健福祉課福祉班主幹（谷津匡昭君） マッサージ器でございますが3台を予定しております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 嶋班長。

○保健福祉課長寿介護班長（嶋 正美君） ただいまの御質問にお答えいたします。中学校区3カ所で高齢化率の高い箇所が利府中学区、その次にしら中学区となっております。現在、包括支援センターのほう保健福祉センター内がございますので、そちらの今ある包括支援センターとのかかわりとかその辺を考えまして、これから実際に配置する場所ですね、しら中のほうの学区になるのか、その辺を改めてもう一度検討させていただくということになっております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 2点お伺いいたします。

まず初めに、説明書の②のほうの39ページ、これは包括的任意事業の委託料の食の自立支援業務委託料が週2回になりました。業者はもう選定されているのか、それからまた食の自立支援事業が週2回になりましたけれども、前回週1回の登録者の倍の予算を見込んでいらっしゃるのか、まずその点をお伺いいたします。

それから2点目は、①の説明書のほうの18ページに県からの補助金の中で自殺対策緊急強化事業補助金がございます。18万1,000円。これは自殺対策の2分の1の補助と説明を伺いましたけれども、この補助金は毎年これぐらいの額が県から入っているのか、そして76ページのその自殺対策のことですけれども、76ページの1項保健衛生費の中の委託費で予防接種業務委託

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

料の中に含まれるのか、その点をお伺いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を求めます。佐藤主幹。

○保健福祉課長寿介護班主幹（佐藤幸子君） 14番遠藤委員の御質問にお答えいたします。

一番の食の自立の選定業者に関してですけれども、今選定のほうを進めている段階でございます。それから予算に関してですけれども、登録者80人を見込みまして週2回の12カ月での予算を計上しております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 2点目。伊藤班長。

○保健福祉課健康づくり班長（伊藤文子君） お答えいたします。

最初に歳入につきまして、自殺対策緊急強化事業補助金につきましては、27年度より補助事業別に補助率が変更となりまして、10分の10が2分の1になったりしておりますので、金額は変わってきております。

続きまして、委託料に自殺対策事業が入っているのかという御質問でございますが、こちらにつきましては、こころのサポーター養成講座の先生の報償費、それから消耗品費としまして、十符の里フェスティバル等で啓発普及をするための物品購入のほうに計上させていただいております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 1点目の食の自立支援ですけれども、今までは社会福祉協議会のほうでボランティア友の会さんと運転ボランティアさんの協力のもとに週1回しておりました。それを全く週2回業者さんということによろしいでしょうか。ボランティアさんが配達することによって、安否確認とか温かい交流も中でできたものですから、その辺が全く業者さんになるとただただ配達だけなのかなと想像いたしますけれども、その辺の福祉課としてのお考えをお伺いいたします。そして、一人負担が250円でしたけれども、この金額は変わらずでしょうか。お願いいたします。

それから2点目の自殺予防ですけれども、国のほうでこれは改正が今国会で改正予定ということで、基本法改正、10年たった自殺対策基本法ですか、10年たって改正するというところで、各新聞に大きく取り上げられておりました。そして全ての市町村にも年代別、性別、職業などの分析を踏まえた計画づくりを義務化するという内容が出ておりました。もちろんこれが国会を通らなければ動き出しはしないと思うんですけれども、多分28年度中には動き出さなければいけないと思うんですけれども、特にその辺の予算は考えていらっしゃるでしょうか。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を求めます。嶋班長。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

○保健福祉課長寿介護班長（嶋 正美君） ただいまの遠藤議員の御質問にお答えします。

1点目のボランティアさんの活用の件になりますが、以前にも御説明しましたとおりボランティアさんに御協力いただいでできないというのはちょっと残念なことではありますが、今回民間事業者にということをお願いしようと思っておりますが、弁当だけの配達ではなく見守り等も行った上での食の自立支援の業務になりますので。それと単価につきましては個人負担のほうは今までどおりの250円で考えております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 伊藤班長。

○保健福祉課健康づくり班長（伊藤文子君） 自殺対策の計画の義務化につきまして、本年度今回の予算には計上はしておりませんが、まだ国のほうからはっきりとした内部の説明等がまだありませんので、今後はそちらのほうについては注視していきたいと考えておりますが、28年度につきましては健康日本21計画を策定する予定でございますので、その中でも自殺対策につきましては検討させていただき予定にしております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 改めてお聞きしますけれども、食の自立は個人負担250円。それで、今までは確か350円が町の負担だったと思いますが、27年度は400円の負担ではなかったかと思えますけれども、もし間違っていたら訂正していただきたいんですが、町の負担は350円と設定なさっているのでしょうか。

それからこの自殺対策ですけれども、今までも決算などを見ておりますと、こころのサポーター、これもゲートキーパーというような役割の講習があると思えますけれども、受けた方のあれはとっても重いので、素人の私たちには到底無理のような話がございました。国会でこれが成立しますと、それなりの補助金なりの動きもあるかと思えますけれども、町としても今までどおりではなく、もう早くから取り組んでいる先進地もございます。ですからこの自殺対策に対して予算を、予算内でできること、今までとは違う方法を何か考えなければならないと思えますけれども、その辺のちょっとこういった大きな問題ですので、今までどおりではなく、予算の中で何かお考えがあれば伺いたいと思えます。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を求めます。嶋班長。

○保健福祉課長寿介護班長（嶋 正美君） ただいまの1点目についてお答え申し上げます。

予算計上のほうは1回400円の町の負担で計上のほうはさせていただいております。こちらというのは、今まで社会福祉協議会のほうに委託したことによりまして事務的経費を払っておりました。こちらのほうの予算作成の際にまだ社会福祉協議会さんのほうとやるということで

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

予算のほうも計上しておりましたので実際これから自己負担を350円で、民間事業者のほうと契約を進めることになると思うんですが、その際には実績をみまして補正対応でと考えております。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） 2点目、伊藤班長。

○保健福祉課健康づくり班長（伊藤文子君） お答えいたします。

今後の予算化につきましては、実際に利府町内で自殺なさっている方が26年度までしか統計をとっておりませんが、26年度についてはお二人、その前年度は3名ということで、比較的ほかの市町村に比べて自殺される方は少ないとはいえ、やっぱり心の病を持った方は町内も非常に多くいらっしゃることは熟知しております。今後につきましては、限られた予算の中で、あとは補助金等がつくかどうか、一応国の考え等をよく見きわめながら検討していきたいというふうに考えております。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。2番西澤委員。

○西澤文久委員 58、59で20節扶助費に関してちょっとお聞きします。障害者自動車ガソリン等費用助成事業がありますけれども、昨年が683万4,000円、今年度が755万2,000円。約70万円の差があるんですけれども、これはどうしてあんなったんでしょうか。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を求めます。折笠班長。大きい声でお願いします。

○保健福祉課福祉班長（折笠ゆき江君） 西澤委員にお答え申し上げます。

端的に対象者がふえたというところではあります。ガソリンのほうがタクシー利用の方よりふえてきているというところもありますので、そちらのほうでふえてきているというところになります。

○委員長（後藤 哲君） 西澤委員。

○西澤文久委員 利用者はどのぐらいいるのかちょっと伺います。

○委員長（後藤 哲君） 折笠班長。

○保健福祉課福祉班長（折笠ゆき江君） お答え申し上げます。

現在、この予算積算上では一応360人を28年度ではみております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。9番高久委員。

○高久時男委員 では74ページ、災害救護費なんですけれども、21節貸付金、昨年と同じく340万円計上されているんですが、この貸付金の現在累計残高と件数とお願いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。谷津主幹。

○保健福祉課福祉班主幹（谷津匡昭君） 高久議員の御質問にお答えいたします。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

件数につきましては49件、残高につきましては6,109万5,078円になります。以上です。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。

質疑がありませんので、以上で保健福祉課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

ここで暫時休憩をします。

再開は10時45分とします。

午前10時30分 休 憩

午前10時43分 再 開

○委員長（後藤 哲君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により子ども支援課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、子ども支援課長より本日出席している説明員の紹介を願います。

○子ども支援課長（櫻井やえ子君） お疲れさまでございます。

子ども支援課の本日出席をしております説明員を御紹介いたします。

初めに、前列子ども支援班から紹介いたします。

子ども支援班長の鈴木久仁子です。（「鈴木です。よろしく申し上げます。」の声あり）

主査の佐藤瑞穂です。（「佐藤です。よろしく申し上げます。」の声あり）

技術主査の酒井裕子です。（「酒井です。よろしくお願いいたします。」の声あり）

菅谷台保育所長の青柳久美子です。（「青柳です。よろしくお願いいたします。」の声あり

）

次に後列、子ども未来班を紹介いたします。

子ども未来班長の鎌田輝久です。（「鎌田です。よろしく申し上げます。」の声あり）

主任主査の利 玲子です。（「利です。よろしくお願いいたします。」の声あり）

東部地区子育て支援センター所長の櫻井明子です。（「櫻井です。よろしくお願いいたします。」の声あり）

最後に私、子ども支援課長の櫻井やえ子です。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。子ども支援課長。

○子ども支援課長（櫻井やえ子君） それでは、子ども支援課の平成28年度当初予算につきまして、各種会計予算説明書①により御説明申し上げます。

初めに、歳入から御説明いたします。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

8ページをお開き願います。

13款1項2目民生費負担金2節児童福祉費負担金1億3,731万8,000円でございますが、町内認可保育所7カ所の保育所保育料徴収金と菅谷台保育所の延長保育料を計上しております。昨年度に比べ2,117万1,000円の減となっておりますが、ことし4月より利府葉山保育園が保育所型の認定子ども園に移行することから、保育料については直接施設側で徴収する仕組みに変更となりますのでそれに伴う減額でございます。

3節児童福祉費負担金滞納繰越分31万2,000円につきましては、保育所保育料の滞納繰り越し見込み額を計上しております。

次に、9ページをごらんください。

14款1項2目民生使用料1節行政財産使用料のうち子ども支援課関係でございますが、施設敷地内の電柱等使用料として、菅谷台保育所使用料2万4,000円、森郷児童遊園使用料4,000円を計上しております。

2節児童クラブ使用料1,376万円でございますが、町内児童クラブ7カ所の使用料を計上しております。

3節児童クラブ使用料滞納繰り越し分2万1,000円につきましては、児童クラブ使用料の滞納繰り越し見込み額を計上しております。

次に、11ページをお開き願います。

15款1項1目民生費国庫負担金3節児童福祉費負担金のうち施設型給付費負担金につきましては、記載の利府聖農保育園から青山すぎのこ保育園までの町内7カ所の民間保育園、認定子ども園の運営に対する負担金2億2,648万6,000円を計上しております。

12ページをお開き願います。

地域型保育給付費負担金につきましては、新たに4月より町の認可として開園する地域型保育施設スマイルキッズ利府園とおおぞらおひさま園の運営に対する負担金1,985万円を計上しております。

次に、13ページをごらんください。

15款2項2目民生費国庫補助金4節児童福祉費補助金のうち子ども支援課関係でございますが、説明項目の3段目の地域子育て支援拠点事業費補助から14ページの認可保育所大規模改修費補助までの10事業を計上しております。主な内容でございますが、地域子育て支援拠点事業費補助1,347万6,000円につきましては、町内の4カ所の子育て支援センターの運営に対する補助金でございます。ファミリーサポートセンター運営支援事業費補助78万6,000円につきまし

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

では、地域で子育てを支援する会員組織ファミリーサポートセンターの運営に対する補助金でございます。放課後児童健全育成事業費補助1,948万6,000円につきましては、町内小学校区に開設する児童クラブ7カ所の運営に対する補助金でございます。保育所緊急整備事業費補助1億8,259万円につきましては、平成29年4月開園予定の民設民営による認可保育所の整備に対する補助金でございます。小規模保育施設整備補助2,933万2,000円につきましては、平成29年4月の開園に向けて3歳未満児の保育の受け入れ施設として誘導する小規模保育事業の整備に対する補助金でございます。

次に14ページをお開き願います。

認可保育所大規模改修費補助1,000万円につきましては、社会福祉法人愛耕会が運営する青葉台保育園の施設老朽化に伴い、屋根などの大規模改修に対する補助金でございます。

次に、15ページをごらんください。

16款1項1目民生費県負担金3節児童福祉費負担金のうち施設型給付費負担金及び16ページの地域型保育給付費負担金につきましては、国庫負担金と同様に町内7カ所の民間保育園、認定子ども園の運営に対する県負担金1億1,680万2,000円と地域型保育事業施設2カ所の運営に対する県負担金992万4,000円を計上しております。

同じく16ページの16款2項1目総務費県補助金1節市町村振興総合補助金のうち、子ども支援課関係でございますが、説明項目2行目の障害児保育事業費補助294万円につきましては、障害のある児童の受け入れを実施する民間保育園、認定子ども園に対する補助金でございます。次の低年齢児保育施設助成事業費補助166万9,000円につきましては、町内の認可外保育施設の運営に対する補助金でございます。17ページの説明項目4行目の市町村地域福祉おこし事業費補助47万8,000円につきましては、今年度で5回目を迎えるこどものまちな企画運営業務に対する補助金となっております。同じく17ページの2目民生費県補助金3節児童福祉費補助金のうち、子ども支援課関係でございますが、国庫補助金と同様に説明項目2段目の放課後児童健全育成事業費補助、次の少子化対策支援市町村交付金、2行開けて地域子育て支援拠点事業費補助から18ページのファミリーサポートセンター運営支援事業費補助まで合わせて9事業の補助金を計上しております。

24ページをお開き願います。

21款3項2目1節民生費貸付金元利収入のうち、社会福祉法人貸付金700万円につきましては、前年度と同額を計上しております。

25ページをごらん願います。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

21款5項3目8節雑入でございますが、保育所職員給食費159万5,000円につきましては、町立菅谷台保育所の職員給食費を計上しております。

続きまして、歳出について御説明いたします。

予算説明書の65ページをお開き願います。

3款2項1目児童福祉総務費でございますが、本年度7,331万7,000円を計上しております。昨年度に比べ679万2,000円、10.2%の増となっておりますが、昨年度、地方創生関連交付金事業として計上しておりました第3子からの保育料の無料助成を行うすこやか子育て支援事業の補助金について、子ども支援課の予算に組みかえをしたことによる増額でございます。主な内容でございますが、子ども支援班の職員人件費と8節報償費6万8,000円につきましては、小規模保育施設の整備事業者を選定するために設置する委員会の委員謝礼でございます。

66ページをお開き願います。

5目保育所費でございますが、本年度11億5,386万9,000円を計上しております。町立菅谷台保育所及び認可保育園、認定子ども園さらにはことし4月より運営開始となる地域型保育施設合わせて10カ所の保育施設の運営に要する経費でございます。昨年度に比べ4億2,613万5,000円、58.6%の大幅な増となっておりますが、年々増加する待機児童の解消に向け、平成29年4月の開園に向けて整備を行う民設民営の認可保育所並びに地域型保育施設の整備に伴う補助金の増額でございます。各保育施設の定員についてでございますが、別添当初予算関係補足説明資料所の子育て関係資料40ページをお開き願います。

2の特定教育保育施設運営事業をごらんください。施設の定員についてでございますが、町立菅谷台保育所につきましては、昨年度同様に2号3号合わせて90人の定員となります。利府聖農保育園から青山すぎのこ保育園までの私立保育所6カ所につきましては2号3号合わせて445人の定員となります。4月から保育所型の認定子ども園になる葉山保育園につきましては、2号3号合わせて70人のほか、教育機能を持つ1年認定12人を新設し、82人の定員となります。平成28年度は町内8施設合わせて617人の定員となりますが、今年度の定員を大幅に超える入所の希望がありますので各保育施設の受け入れ面積を十分に確認したうえで国が認める定員の119%までの受け入れを可能とした弾力運用を実施しながら、待機児童の解消に努めてまいります。

次に3の特定地域型保育施設運営事業をごらんください。

子ども子育て支援新制度の実施に伴い、今年度町が新たに認可し開園する施設でございます。3歳未満の児童を専門的に保育する小規模保育施設としてスマイルキッズ利府園、定員19人を

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

開園するとともに、従業員の子供と地域の子供と一緒に保育する事業所内保育施設として、おぞらおひさま園定員4人を開園し、合わせて3号認定23人の定員拡大を図り、保護者の就労支援に努めてまいります。

それでは予算説明書①の69ページにお戻りください。

19節負担金補助及び交付金10億60万1,000円でございますが、昨年度に比べ4億2,234万8,000円、73%の大幅な増となっております。負担金につきましては、利府聖農保育園をはじめとする民間保育園、認定子ども園7カ所と地域型保育施設2カ所の計9カ所の施設運営に要する経費をそれぞれ計上しております。補助金につきましては、町が独自に実施している保育所給食利府産米導入事業214万2,000円のほか、今年度新たな補助金として青葉台保育園大規模改修事業に1,500万円、認可保育所整備事業に2億541万3,000円、小規模保育施設整備事業に3,300万円の補助金をそれぞれ計上しております。

70ページをお開き願います。

6目子育て支援センター費でございますが、本年度5,788万円を計上しており、昨年度に比べ467万6,000円、8.8%の増となっております。主な内容につきましては、別添補足説明資料の41ページをお開き願います。

7の子育て支援センター運営事業につきましては、青山すぎのこ保育園内に設置している子育て広場ぽかぽかと町が運営する東部地区子育て支援センターペア・きっずと生涯学習センター内の子育て広場十符っ子の運営に要する経費をそれぞれ計上しております。地域の子育て支援の拠点として親子が一緒に楽しめる子育て講座や相談事業を実施するとともに、各種子育て情報の提供を行い、保護者が安心して子育てできる環境づくりに努めてまいります。

8のファミリーサポート事業につきましては、仕事と子育ての両立支援を目的とした地域全体で子育てをサポートする会員組織ファミリーサポートセンターの運営に要する経費を計上しております。現在会員数も170名を超え、日々活発な活動支援が行われております。

それでは予算説明書①の71ページにお戻りください。

7目児童対策費でございますが、本年度3,810万8,000円を計上しており、昨年度に比べ236万8,000円、5.9%の減となっております。

主な内容ですが、72ページをお開き願います。

8節報償費のうち新生児誕生祝記念品132万3,000円につきましては、昨年4月より町独自の子育て支援策として赤ちゃん誕生時にお祝い品としておむつケーキを贈呈する事業を実施しており、その経費でございます。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

13節委託料のうち、病児保育事業委託料429万1,000円につきましては、町内で実施している仙塩利府病院に対する委託経費と、仙台市内の病院3カ所に対する委託経費でございます。

次に8目児童福祉施設費でございますが、本年度7,515万円を計上しております。昨年度に比べ7,253万6,000円、50.9%の大幅な減となりましたが、利府三小児童クラブの整備が完了したことに伴う減額となっております。主な内容ですが、各小学校区に設置する7つの児童クラブと西部児童館の運営及び管理に要する経費でございます。

8節報償費12万1,000円につきましては、西部児童館と児童クラブの運営について、今年度で3年間の指定期間が終了することから、平成29年度からの事業者を選定するために設置いたします委員会の委員謝礼でございます。

13節委託料7,256万4,000円のうち、こどものまち企画運営業務委託料95万7,000円につきましては、役場庁舎や町民交流館を会場に子供たちがみずから楽しみながら職場体験を行うこどものまち事業の業務委託料でございます。児童クラブ運営事業委託料4,278万1,000円及び特別支援事業委託料236万6,000円につきましては、菅谷台小児童クラブを除く6カ所の児童クラブの運営に要する委託料でございます。西部児童館指定管理料2,646万円につきましては、西部児童館と菅谷台小児童クラブの運営管理に要する指定管理料でございます。NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘に指定管理を委託しており、民間のノウハウを生かした質の高い事業の実施に努めてまいります。児童クラブの運営につきましては、平成27年度からの新制度の実施に伴い、対象年齢を段階的に引き上げており、平成28年度は小学5年生までに受け入れを拡大いたします。また、施設整備が完了した利府三小児童クラブについては、定員を70名から80名に拡大するとともに、入所希望者が増加している菅谷台小児童クラブについては4月より菅谷台小学校体育館内のミーティングルームを活用し、2カ所に分かれての運営を実施し、定員を70人から95人に拡大いたします。今年度の児童クラブについては、7カ所合わせて535人の定員とし、保護者の就労支援と児童の放課後の安心で安全な居場所づくりに努めてまいります。

以上が子ども支援課関係の平成28年度当初予算の概要でございます。よろしく御審議くださいますようお願い申し上げます。

○委員長（後藤 哲君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。1番鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 3点お伺いいたします。

まず65ページの3款2項1目19節負担金のところのすこやか子育て支援事業なんですけれども、要するに3人目を補助するということがあったんですが、補助の金額とか人数とかを教えて

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

いただければと思います。

それから、72ページの3款2項2目8節報償費で新生児誕生の記念品の1つ当たりの単価を教えてくださいたいと思います。それからまたその下の13節委託料の震災復興子育て支援イベント委託料が、去年は77万円ということだったんですが、今回は9万8,000円というようにちょっと金額的に下がっていたので、これの理由を教えてくださいたいと思います。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。佐藤主査。

○子ども支援課子ども支援班主査（佐藤瑞穂君） 1番鈴木委員にお答えいたします。

まず1点目のすこやか支援事業の当初の事業の実施見込みということですが、認可保育所、幼稚園、認可外保育所にそれぞれ分かれておりまして、認可保育所の児童数は43人、幼稚園の児童数が58人、認可外保育所の児童数が2人、合計103名の児童数を見込んでおります。補助見込み額といたしましては、認可保育所等が1,098万8,620円、幼稚園が1,471万4,640円、認可外保育所が66万6,000円、合計2,636万9,260円を見込んでおります。1点目は以上です。

○委員長（後藤 哲君） 鎌田班長。

○子ども支援課子ども未来班長（鎌田輝久君） 1番鈴木委員の御質問にお答えいたします。

まず2点目の新生児誕生祝い記念品の単価でございますけれども、次年度につきましては3,500円に消費税ということで積算した予算額となっております。

次に3点目、復興支援イベント事業の経費の減でございますけれども、まず平成27年度はひょうりひょうたん島の人形劇の開催経費とクリスマスコンサートとしまして、あきらちゃんコロケくんコンサート、こちら二本立てで実施したところであります。来年度につきましては、あきらちゃんコロケくんコンサートを休日に開催することで、これまで見に来られなかった親子の方を幅広く取り入れていこうということで考えておりまして、その分の運営費の分の減が理由となっております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 まず最初のすこやか子育て支援事業についてなんですけれども、こちらはうち独自の事業なのか、補助の内容も近隣市町村とは差があるのか教えてくださいたいと思います。

それから、72ページの新生児誕生祝金のほうなんですけれども、おむつケーキということだったんですけれども、3,500円ということで金額的にも結構な金額だと思います。消えてしまうものよりも、ぜひその中でも例えば本とかで少しでも残るものとしてみたらいかがでしょうかと思いました。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 鈴木班長。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

○子ども支援課子ども支援班長（鈴木久仁子君） 1番鈴木委員にお答えいたします。

すこやか子育て支援事業につきましては、平成19年1月から実施しておりまして、利府町独自の支援事業となっております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 鎌田班長。

○子ども支援課子ども未来班長（鎌田輝久君） 鈴木委員の再質問にお答えいたします。

おむつケーキを本とかのものに変えたほうがよろしいのではないかとということでございますが、おむつケーキを始める前の子育ての支援事業としましては、無料の一時預かりのクーポン券を交付していたところでございます。ただ、こちらのほうにつきましては、保育所などに通われている方は利用しないということで必ず皆さんが子育てのときに使うものにしようということで、紙おむつという形にさせていただきました。なお、ただの紙おむつということでは消えてしまうものということもございますので、デコレーションにかたどったものを子ども支援課の窓口で交付させていただいて、課の職員一同で起立して拍手してお祝いするなどして、誕生をお祝いするというところで保護者の方に心に残るような形で実施しておりますので、この事業も何とか続けていきたいということで来年計上したものでございます。

○委員長（後藤 哲君） 鈴木晴子委員。

○鈴木晴子委員 こちらの子育て支援事業のおむつケーキのほうも、本当に町として素晴らしいほかの市町村に見られないことだと思いますので、こちらのぜひ周知のほうを図っていただければと思いますけれども、こちらの周知状況はどのようになっているのでしょうか。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁。鈴木班長。

○子ども支援課子ども支援班長（鈴木久仁子君） 鈴木委員の質問に再度お答えいたします。

すこやか支援事業につきましては、広報誌とかホームページで周知しているほか、各保育園のほうに申請用紙の案内状のほうを配付しながら周知をしております。あと幼稚園とかそのほかの部分につきましても、実績のある所につきましてはパンフレット等もお持ちしながら申請漏れがないような形での周知を努めているところです。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 鎌田班長。

○子ども支援課子ども未来班長（鎌田輝久君） 鈴木委員の再々質問にお答えいたします。

おむつケーキの周知関係ですけれども、まず今年の4月当初、始まった当初には河北新報に取材していただきまして大きく紙面に掲示していただきました。あとこちらの事業につきましては、出生届け出をした方、町民課の窓口に来られた方がそのまま子ども支援課のほうに上がっていただくということで対象の配付漏れがないような形で取り組んでいるところでございま

す。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。5番安田委員。

○安田知己委員 3つお聞きします。69ページに、下から5個目に認可保育所整備事業とありますが、まず今度の4月からの新学期が始まるので保育所の申し込み人数とあと現段階で待機児童をどのくらい見込んでいるのか、そのところを一つお聞きします。

続きまして、2番目はその下の小規模保育施設整備事業とありますけれども、今年度この小規模保育施設に移行とそういうふうを考えているような施設があるのか、具体的にそういう話があるのであれば教えてください。

3番目なんですけれども、72ページ、14ですね、使用料及び賃借料で映画、ブルーレイディスクの賃借料という話がありますけれども、これは何のブルーレイディスクだったか、何か聞いたような気もするんですけれどもちょっと詳しく教えてください。お願いします。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。鈴木班長。

○子ども支援課子ども支援班長（鈴木久仁子君） 5番安田委員の質問にお答えします。

今現在の、27年度3月末現在は109名という待機児童と報告していたところですが、28年の入所申し込みにつきましては、定員628名に対しまして弾力運用を図りまして受け入れ枠、小規模等も入れまして719名という枠を設けているところでございます。それに対しまして、今現在決定している4月入所につきましては、665名という形になっております。それで入所申し込みされた方で現在待機になられている方につきましては26名が今待機という形になっております。以上です。あ、大変申し訳ありません、小規模ですね。

小規模保育所につきましては、3歳未満児の待機児童ということですので、補助金を活用して整備するということで、今計画上は2事業所ほど誘導していければなというところで準備を進めているところでございます。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 鎌田班長。

○子ども支援課子ども未来班長（鎌田輝久君） 5番安田委員の質問にお答えいたします。

映画、ブルーレイディスクの内容でございますけれども、タイトルとしましては映画「うまれる ずっといっしょ」こちらのブルーレイディスクを借り上げしようと考えております。内容につきましては障害を持ってお子さんが生まれてしまった方、死産になってしまった方など大変な思いをされて子育てされている方のドキュメンタリー映画となっております、まず平成27年度にもこれの前作を上映しております。こちらは映画「うまれる」ということで、11月に実施しておるところでございます。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

○委員長（後藤 哲君） 安田委員。

○安田知己委員 まず待機児童のことで、719名入れるんですけれども今申し込みがあったのが665名。それで申し込みが少ないんですよね。719名入れるのに665名しか申し込みがなくて。でも待機が26名いるということは、その方というのはここじゃなきゃ絶対だめだとかそういう意味で待機になってしまったということで理解してよろしいんでしょうかね。まず一つそこを聞きます。あと、平成26年に新しい認可保育所をつくるという話があったんですけれども、ちょっとその辺の内容をまだ詳しくわからないもので、今現段階でわかっている新しい認可保育所の内容をどこに建てるとか、そういったことがわかればその辺の内容を教えてください。

続きまして小規模保育施設なんですけれども、今全国的にこの小規模保育の問題と言いますか、3歳の壁とかというのがやっぱりありますよね。0歳から2歳までしか入れない小規模施設なので、そうなってくるとやっぱり連携施設というのが非常に大事になってくるんだと思うんですけれども、私も12月にこの辺の話をしたんですが、少し日にちもたっているんでその連携施設、そういったものが進捗しているのであればその辺の内容も教えていただきたいと思えます。

あと、ブルーレイのほうは「うまれる」というのを借りるということなんですけれども、それをどこかでやっぱり上映するんだなと思うんですけれども、どういったところでこれを上映するのかその辺の話もお聞かせください。お願いします。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。鈴木班長。

○子ども支援課子ども支援班長（鈴木久仁子君） 5番安田委員の再質問にお答えいたします。

待機児童26名につきましては、やはり3歳未満児の入所申し込みが大きいというところで、0歳児の枠は空いているんですが、1歳と2歳、ここの部分がやはり小規模のほうに拡大しても入れないというところもあります。あとは4歳5歳の部分については枠は空いているんですが、御本人さんの理由で入らないという方もそこには何人かいらっしゃいますが、大きくは1、2歳の部分かなというふうに考えております。

それで、27年の4月時点の入所については627名の受け入れをしていたんですが、ことし28年度4月時点では665名ということで、一応38名の昨年から比べて増にはなっているというところになります。

続きまして、29年4月開園に向けての認可保育所につきましては、全員協議会のほうで町長の挨拶のほうでお話しさせていただいたとおり沢乙のほうに事業所の方が整備をしたいということで申し出がありましたので、今現在その部分についてスケジュール等やどのぐらいの規

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

模で建てていただけるかということを進めているところになっております。

小規模事業所につきましては、おひさま園につきましては、おおぞら保育園の部分になりますので、そちらのほうに受け入れられる体制が整備されておりますが、スマイルキッズ利府園さんにつきましては、まだ連携施設が見つかっていないというところなんです。我々が施設のほうにも連携施設を見つけていただくことと、あとは保育はつなげていかなきゃいけないというところを認識していますので、その辺について見つからない、経過措置期間もありますので、そこは途切れないような形で支援をしていくような体制整備をしていきたいと考えております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 鎌田班長。

○子ども支援課子ども未来班長（鎌田輝久君） 安田委員の再質問にお答えします。

映画の上映場所でございますけれども、現段階ではまだ確定ではございませんけれども、役場の会議室を利用して開催したいと考えております。

○委員長（後藤 哲君） 安田委員。

○安田知己委員 まだ決定事項ではないので、平成29年の4月からある認可保育所のことは沢乙という話がありますけれどもちょっとまだ決まっていないということなんですけれども、大体あの辺私もイメージすると、あの道路とかというやっぱり交通量が多いですし、トラックとかがいっぱい走っているので、騒音だったり排気ガスだったりする、そういった環境的にあの辺は大丈夫なのかなとちょっと感じる場所もあるんですけれども、役場のほうでは大体その辺の場所的には大丈夫だよというような認識で動いているのか、その辺ちょっと一つお聞かせください。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。櫻井課長。

○子ども支援課長（櫻井やえ子君） 安田委員にお答えします。

29年4月の認可保育所の御質問でございますけれども、今回の保育所のつきましては町の土地を活用という、今まで整備をしてきた内容とは若干違いまして、業者のほうで自分で土地を求めて整備をしていくということで、場所的にどうなんだということなんですけれども、やはりできれば町の土地を提供させていただきたいなということで我々もいろいろ探したんですけれども、今現状としてなかなか町の土地がないということで、そういうこちらのほうでもいろいろ調査研究しているところに、どうしても民間のほうで土地を求めて建てたいという方がいらっやいまして、場所的にもある程度こちらのほうの意図する面積があったり、環境的には交通量がちょっと激しいというところはあるかもしれませんが、環境的には適地にはな

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

るのではないかなど。ただ沢乙という町内は市街化調整区域のエリアになっておりまして、保育所についてはある程度緩和されているということで、建てていくことは前向きに進めてはいきますけれども、いろいろなこれから整備に向けてぶつかる部分もたくさんあると思うんですけれども、町としてはそういうふうな申し出もありましたので、いろいろ協力をしながら待機を1人でもなくしていきたいというふうに思っておりますので、そういう形で一緒に進めていきたいというふうに考えております。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。6番木村委員。

○木村範雄委員 2点お願いします。一つは今の保育所の関係なんですけれども、認可外も含めた申し込み児、さっき定数が628を719名に拡大しまして今現在665名を見込んでいますという報告は受けました。要は保育所を必要とする人たちの分として認可保育所があって認可外があってという形になると思うんですけれども、町のほうでつかんでいるのが認可施設だけの申し込みだとすれば、あとは認可外のほうをどのように見込んでいるのか、それを一つお尋ねします。

もう一つは児童クラブの関係です。児童クラブ、この説明書のほうでは今440名の定員だと。それで今年から5年生まで拡大するというので進んでいるということですので、今どのぐらいの申し込みをみているのか。希望すれば全ての方が小学校で保育に欠けるといのはおかしいですが、留守家庭児童がというんでしょうけれども、その辺でどのぐらいの申し込みを想定しているのかお尋ねしたいと思います。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。鈴木班長。

○子ども支援課子ども支援班長（鈴木久仁子君） 6番木村委員の質問にお答えいたします。

認可外のほうにつきましては、今現在利府仙塩病院も含めまして7カ所、昨年たけのこさんが10月に1つ開園いたしましたので7カ所の施設があります。そのうちスマイルキッズ利府園さんが4月からは小規模のほうに移行する予定になっているところなんですけど、28年2月1日現在、定員としては174名に認可外のほうにはなっています。実際ここに利府町の子供たちが何人入っているかということにつきましては、99名利用しております。そのうち保育が必要とされる児童数については64名というような内訳になっております。それ以外の部分につきましては、町外の認可外につきましては仙台市だったりとか塩竈市の子供たちも利用することができていますので、そういう方たちも今利用しているという形になっております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 鎌田班長。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

○子ども支援課子ども未来班長（鎌田輝久君） 木村委員の御質問にお答えいたします。

児童クラブの定員と申し込み状況でございますが、まず児童クラブの定員は利府町全体で535名となっております。来年度に向けた申し込みにつきましては1月8日までを一斉申し込みの期間といたしまして、その方たちの申し込みは449名ございました。こちらの方々につきましては2月の段階で入所決定させていただいているところでございます。

○委員長（後藤 哲君） 6番木村委員。

○木村範雄委員 児童クラブの分は理解をしました。保育所のほうで今回待機児童もいるということなんですけれども、保育所認可外、あと小規模にも入れない、要は働けなくて自分で子供の面倒をみなきゃならないという人がどのぐらいいるかつかんでいけば教えてください。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。鈴木班長。

○子ども支援課子ども支援班長（鈴木久仁子君） 木村委員の再質問にお答えいたします。

先ほど28年申し込みの段階で26名の待機がいるということでお話しさせていただいたところです。その中でこの方たちで保育を必要とする理由としましては、就労関係については17名、仕事をしているというところで17名、あとは求職活動と就学ということで勉強されるという方が9名、合わせて26名、今待機になっているところです。その中で認可外を利用するという方は5名、あとは育休を延長される方が1名、それから親族等については6名、就職延期が8名という形でそれぞれ待機の間にはそういう形で対応していくというような状況になっております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。

質疑がありませんので、以上で子ども支援課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

ここで暫時休憩をします。

再開は11時40分とします。

午前11時28分 休 憩

午前11時38分 再 開

○委員長（後藤 哲君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により町民課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、町民課長より本日出席している説明員の紹介を願います。

○町民課長（庄司幾子君） それでは町民課の説明員を御紹介いたします。

初めに、戸籍住民班です。参事兼戸籍住民班長の阿部智子です。（「阿部です。よろしく

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

お願いいたします。」の声あり)

続きまして保険年金班です。保険年金班長の伊藤 香です。（「伊藤です。よろしくお願
いいたします。」の声あり)

主査の土屋俊介です。（「土屋です。よろしくお願いたします。」の声あり)

主査の伊藤めぐみです。（「伊藤です。よろしくお願いたします。」の声あり)

私は町民課長の庄司幾子でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○委員長（後藤 哲君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。町民課長。

○町民課長（庄司幾子君） それでは、平成28年度予算の一般会計、国民健康保険特別会計、後
期高齢者医療特別会計の順に主なものについて御説明をいたします。

最初に、一般会計歳入から御説明いたします。

利府町各種会計予算説明書①の9ページをお開きください。

13款1項3目衛生費負担金でございますが、未熟児の養育医療費に係る自己負担分として38
万1,000円を計上しております。

次に、11ページをお開きください。

14款2項1目総務手数料2節戸籍住民基本台帳手数料でございますが、前年度より1.6%減
の999万5,000円を計上しております。

15款1項1目民生費国庫負担金2節保険基盤安定負担金でございますが、国民健康保険の保
険者支援分として前年度より242.7%増の2,121万7,000円を計上しております。

次に、12ページをお開きください。

同じく4節児童手当負担金でございますが、児童手当に要する費用の国庫負担金として前年
度より0.4%減の4億6,955万9,000円を計上しております。同じく2目衛生費国庫負担金1節
養育医療給付費負担金でございますが、未熟児の養育医療に要する経費の国庫負担金として、
前年度より18.1%減の112万6,000円を計上しております。

13ページをごらんください。

15款2項1目総務費国庫補助金2節通知カード・個人番号カード関連事務費補助金ござい
ますが、番号法の施行に伴い平成28年1月から発行が始まっている個人番号カードの交付委任
に係る事務費補助金として332万2,000円を計上しております。個人番号の申請、通知カードの
発行事務等が平成28年度で大幅に減少することから、73.3%の減となっております。

次に15ページをお開きください。

15款3項1目総務費委託金でございますが、1節戸籍住民基本台帳費委託金15万円を計上し

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

ております。同じく2目民生費委託金でございますが、前年度より20.9%増の759万6,000円を計上しております。1節拠出年金事務費等委託金として744万2,000円、2節児童福祉費委託金15万4,000円を計上しております。

16款1項1目民生費県負担金2節保険基盤安定負担金でございますが、国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料の軽減分並びに激変緩和分として4分の3、国民健康保険税保険者支援分として4分の1を県が負担するもので、前年度より13.5%増の9,468万9,000円を計上しております。

次に、16ページをお開きください。

同じく4節児童手当負担金は児童手当の費用に対する県の負担金で、前年度より0.4%減の1億286万3,000円を計上しております。2目衛生費県負担金1節養育医療給付費負担金でございますが、未熟児の養育医療に要する経費の県負担金として前年度より18%減の56万3,000円を計上しております。

次に、17ページをごらんください。

16款2項2目民生費県補助金3節児童福祉費補助金のうち、母子父子家庭医療費補助として、247万8,000円を計上しております。

次に、18ページをお開きください。

同じく4節乳幼児医療費等補助金4,298万4,000円でございますが、3歳未満児の通院に係る医療費及び未就学児までの入院に係る医療費助成事業に対する県の補助金として1,608万円、障害者医療費補助として2,690万4,000円を計上しております。

続いて、歳出について御説明いたします。

43ページをお開きください。

2款3項1目戸籍住民基本台帳費でございますが、戸籍住基事務に要する経費として前年度より22.6%増の8,021万1,000円を計上しております。増額の主な理由は、コンビニ交付に伴うシステム構築委託料によるものでございます。また、個人番号カード関連事務委任に伴う交付金として332万2,000円を計上しております。

次に、61ページをお開きください。

3款1項3目国民年金事務費でございますが、前年度より38.1%増の3,321万9,000円を計上しております。主に保険年金班の職員人件費の増によるものでございます。

次に、63ページをお開きください。

同じく6目国民健康保険事業費は国民健康保険特別会計に対する繰出金で前年度より16.6%

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

増の1億7,117万9,000円を計上しております。

64ページをお開きください。

同じく8目後期高齢者医療事業費につきましては、前年度より7.9%増の2億6,510万7,000円を計上しております。内訳といたしましては、宮城県後期高齢者医療広域連合への医療給付事業負担金として2億1,928万9,000円、後期高齢者医療特別会計繰出金として4,581万8,000円を計上しております。

66ページをお開きください。

3款2項2目児童手当費でございますが、6億7,630万6,000円を計上しております。同じく3目母子父子福祉費でございますが、前年度より6.6%増の504万円を計上しております。これは母子父子家庭医療費助成件数の増に伴い増額を行ったものであります。同じく4目子ども等医療費でございますが、前年度より10.4%増の2億1,104万円を計上しております。増額の理由として平成27年度は、地域活性化、地域住民生活等緊急支援交付金事業の繰越により支出されていた中学生の医療費助成成分を子供医療費に計上したことと、10月診療分からの医療助成拡大分に係る経費を増額したことによるものでございます。また、心身障害者医療費として5,380万8,000円を計上しております。

次に、79ページをお開きください。

4款1項5目養育医療給付費でございますが、未熟児に対する入院中の養育医療費の給付に要する経費として前年度より3.1%増の284万円を計上しております。

以上で、一般会計の説明を終わらせていただきます。

次に、国民健康保険特別会計予算の御説明をいたします。

各種会計予算説明書②の1ページをお開きください。

平成28年度国民健康保険特別会計歳入歳出予算の総額は、33億2,667万3,000円で前年度より2.2%、7,454万4,000円の減であります。

歳入から御説明をいたします。

3ページをお開きください。

1款1項1目一般被保険者国民健康保険税でございますが、前年度より2.6%増の5億8,505万5,000円を計上しております。増額の主な理由といたしましては、平成27年度3月をもって退職者医療制度が廃止されたことに伴い、一般被保険者が増加することによる増でございます。なお、収納率は前年度と比較し現年度分が6%増の93%、滞納分は前年度同様20%で計上しております。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

次に、4ページをお開きください。

同じく2目退職被保険者等国民健康保険税でございますが、前年度より46.1%減の3,639万円を計上しております。減額の主な理由といたしましては、先ほど説明させていただいたとおり退職者医療制度が廃止されたことに伴う退職被保険者の減少による減でございます。

次に、6ページをお開きください。

3款1項1目療養給付費等負担金でございますが、前年度より4.6%増の5億652万2,000円を計上しております。増額の主な理由といたしましては、医療費等の増額に伴う増でございます。

3款2項1目財政調整交付金でございますが、前年度より14.4%増の1億6,011万円を計上しております。増額の主な理由といたしましては、医療費等の増加に伴う増でございます。

4款1項1目前期高齢者交付金でございますが、前年度とほぼ同額の7億2,142万4,000円を計上しております。

次に、7ページをごらんください。

6款1項1目療養給付費等交付金でございますが、前年度より36.6%減の8,948万3,000円を計上しております。減額の理由といたしましては、退職者医療制度の廃止に伴う療養給付費等の見込みにより減額となっております。

7款1項1目高額医療費共同事業交付金でございますが、前年度より5.5%減の6,623万8,000円を計上しております。減額の主な理由といたしましては、前年度の実績に基づく減となっております。

7款1項2目保険財政共同安定化事業交付金でございますが、前年度より12.9%減の6億4,606万8,000円を計上しております。前年度の実績による減となっております。

8ページをお開きください。

9款1項1目一般会計繰入金でございますが、前年度より16.5%増の1億7,194万円を計上しております。増の主な理由は、保健基盤安定繰入金の増によるものとなっております。

同じく2項1目財政調整基金繰入金でございますが、17.2%増の1億4,807万6,000円を計上しております。

続いて、歳出について御説明いたします。

10ページをお開きください。

1款1項1目一般管理費でございますが、職員人件費や事務費として4,524万2,000円を計上しております。減額の主なものは、番号制度に対応したシステム改修費用等の委託料の減によ

るものとなっております。

次に、12ページをごらんください。

2款1項1目一般被保険者療養給付費でございますが、前年度より5.2%増の16億8,225万1,000円を計上しております。給付費見込み額算定につきましては、実績額等により1人当たりの医療費を24万5,333円と見込んでおります。同じく2目退職被保険者等療養給付費でございますが、前年度より40.2%減の6,896万6,000円を計上いたしております。給付費見込み額算定につきましては、実績額等により1人当たりの医療費を23万1,430円と見込んでおります。

2款2項1目一般被保険者高額療養費でございますが、前年度より2.0%増の1億9,213万9,000円を計上しております。負担額の見込み額算定につきましては、実績額等により件数は5,767件、1件当たり的高額療養費負担金を3万3,317円と見込んでおります。同じく2目退職被保険者等高額療養費でございますが、前年度より35.5%減の726万8,000円を計上しております。負担額の見込み額算定につきましては、実績額等により件数は73件、1件当たり的高額療養費負担額を9万8,921円と見込んでおります。

次に、14ページをお開きください。

3款1項1目後期高齢者支援金でございますが、前年度より4.9%減の3億7,913万7,000円を計上しております。減額の主な理由といたしましては、前年度の実績による見込みとなっております。

次に、15ページをごらんください。

6款1項1目介護保険納付金でございますが、前年度とほぼ同額の1億3,776万7,000円を計上しております。算定につきましては、社会保険診療報酬支払基金からの算定基礎に基づいたものとなっております。

7款1項1目高額医療費拠出金でございますが、前年度とほぼ同額の6,623万9,000円を計上しております。同じく3目保険財政共同安定化事業拠出金でございますが、前年度より12.9%減の6億4,606万9,000円を計上しております。これは前年度の実績による減となっております。

次に、16ページをお開きください。

8款1項1目特定健康診査等事業費でございますが、特定健康診査対象人数3,000人、特定保健指導対象人数180人を予定し、2,250万1,000円を計上しております。

以上が国民健康保険特別会計予算の概要でございます。

続きまして、後期高齢者医療特別会計予算の御説明をいたします。

47ページをお開きください。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の総額は前年度より3.4%減の2億3,886万3,000円でございます。

歳入から御説明をいたします。

49ページをお開きください。

1款1項後期高齢者医療保険料1目特別徴収保険料でございますが、被保険者2,352人で、徴収率を100%とし、前年度より6.8%減の1億2,004万1,000円を計上しております。同じく2目普通徴収保険料でございますが、前年度より3.5%減の7,212万8,000円を計上しております。内訳といたしましては、現年度分が被保険者712人で、徴収率を97%とし、7,136万6,000円、また滞納繰越分は、徴収率を14%とし、76万2,000円を計上しております。

3款1項2目保険基盤安定繰入金でございますが、被保険者の軽減分及び被用者保険から後期高齢者医療制度に移行する被保険者の激変緩和分といたしまして、前年度より7.6%増の4,366万5,000円を計上しております。

続いて、歳出について御説明いたします。

51ページをお開きください。

2款1項1目後期高齢者医療広域連合納付金でございますが、前年度より3.4%減の2億3,639万円を計上しております。

以上が後期高齢者医療特別会計予算の概要でございます。

以上で町民課の平成28年度の各種会計予算の説明を終わらせていただきます。

よろしく御審議のほどをお願いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。残りの人数質疑者いるでしょうか。5番安田委員。

○安田知己委員 もうお昼過ぎたからちょっと短めにやります。

各種会計予算説明書の②のほうで、4ページ、4節に医療給付分滞納繰越分というのがあるんですけども、国保なんですけれども、いまだに国保の負担が重いという声が町民の間から聞こえてくるんですよ。この辺について、町は今どういうふうに感じているのかちょっと聞かせてもらいたいと思います。今、宮城県で下から数えて5番目でしたっけ、安い値段というのは、4番目か5番目という話は聞いていたんですけども。その辺も踏まえて、やっぱり高くて払えないと、そういう声が多くなってきているんですけどもそれについてどう捉えているのかお聞かせください。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。庄司課長。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

○町民課長（庄司幾子君） 5番安田委員の御質問にお答えいたします。

国保の保険料が重いのではないかと御質問ですが、議員もおっしゃいましたように県内では4番目に安い設定というふうになっております。また、年々軽減率の割合等も上がっておりますので、保険料につきましてはそれぞれの所得に応じたものになっているのではないかと御質問に考えております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 安田委員。

○安田知己委員 それぞれの所得に応じた負担になっているから、町のほうはそういうふうに言わざるを得ないんだと思うんですけども、ではそこでちょっと聞き方を変えますけれども、やっぱり国保税が払えなくても診療が受けられるように、国保法44条というのがあると思うんですけども、町はいまだに使ったことがないと思うんですけども、どうなのでしょう。この国保法44条というのを使用したことがあるかどうかお聞きします。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。庄司課長。

○町民課長（庄司幾子君） 国保法44条の規定につきましては、ここ2年ほどは使ったことはないように思います。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 安田委員。

○安田知己委員 2年ほど使わなかったというんですけども、やっぱり今困っている方がいらっしゃるし、いろいろ震災から5年経っていますけれどもいろいろな支援が打ち切られていますよね、今まで国保の人の医療費の免除とか減免とかあったのがなくなってきていますし、やっぱりいろいろ復興住宅とか今度歩いてみてもらいたいと思うんですけども、そういったところでは本当に医療費が払えなくて困っているという声がいっぱい聞こえるんですよ。ですからやっぱりそういった方にでも国保法の44条とか適用して、こういうのをお知らせして積極的に使ってもらいたいと思います。

あともう1つは国保の問題なんですけれども、介護保険では保険料を払ってしまうと生活保護以下に生活になってしまう、収入がなくなってしまいう人に対して保険料免除するという境界層措置というのが介護保険にはあるんですよ。ですが国保法にはこういったものがないんですよ。生活保護のそれよりちょっと上ぐらいのレベルの人が国保料を払ってしまうと生活の質が生活保護以下になってしまうと、そういったことを助けるために介護保険ではこういったものをつくっているみたいなんですけれども、国保にはこれがないということがまず問題だということが国のほうでもいろいろ指摘されております。ですからこういったことも考えて国保料金を払いやすい料金にやっぱりぜひ考えていってもらいたいと思います。要望になっちゃ

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

いましたね。以上です。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 お昼なので1点。44ページ、お尋ねいたします。

委託料、その上も含めましてコンビニ交付システムについてのもう少し詳細な説明をいただきたいなと思います。コンビニで住民票等が発行できるようにするという事なんですが、その時期と対象コンビニ、利用可能な店舗数、あとは取り扱い、住民票その他の品目、あとは利用者の利用の方法などですね、少し説明をお願いしたいと思います。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。阿部班長。

○町民課参事兼戸籍住民班長（阿部智子君） 吉田委員の御質問にお答えいたします。

コンビニ交付の導入の時期につきましては、平成28年の10月稼働を目指して構築してまいります。コンビニの交付可能な店舗数につきましては、全国4万7,000店舗というふうに把握しております。こちらのコンビニ交付につきましては、店舗で取れるものには、ただいま自動交付機で取り扱っております住民票、戸籍謄本、印鑑証明、所得証明等の証明書を発行する予定となっております。あと、こちらのコンビニ交付は個人番号カードを利用した証明書の取得というふうにごうたっております、暗証番号を入力していただき、御自分でコンビニの端末から証明書を取得できるようなシステムとなっております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。

質疑がありませんので以上で町民課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

ここで昼食休憩をします。

再開は13時10分とします。

午前12時08分 休憩

午後13時07分 再開

○委員長（後藤 哲君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により生活安全課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、生活安全課長より本日出席している説明員の紹介を願います。村田課長。

○生活安全課長（村田政文君） お疲れさまです。それでは本日出席の生活安全課説明員を御紹介申し上げます。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

初めに環境生活班長の鈴木啓義です。（「鈴木です。よろしくお願いします。」の声あり）

主事の渡邊弘嗣です。（「渡邊です。よろしくお願いします。」の声あり）

続きまして、防災安全班長の鈴木則昭です。（「鈴木則昭でございます。よろしくお願いいたします。」の声あり）

主幹の鈴木厚広です。（「鈴木厚広です。よろしくお願いいたします。」の声あり）

私、生活安全課長の村田政文です。よろしくお願いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。生活安全課長。

○生活安全課長（村田政文君） それでは、平成28年度予算の一般会計、町営墓地特別会計の主な内容について御説明申し上げます。

初めに、一般会計歳入から御説明申し上げます。

利府町各種会計予算説明書①の8ページをお開き願います。

12款交通安全対策特別交付金1項交通安全対策特別交付金1目交通安全対策特別交付金でございますが、前年度と同額の600万円を計上しております。

次に、11ページをお開き願います。

14款使用料及び手数料2項手数料2目衛生手数料でございますが、1節鑑札及び狂犬病予防注射済み票交付手数料として、前年度と同額の172万円を計上しております。

2節一般廃棄物処理手数料として、前年度と同額の4,800万円を計上しております。

次に、15ページをお開き願います。

15款国保支出金3項委託金1目総務費委託金でございますが、2節自衛官募集事務費委託金2万5,000円を計上しております。

16ページをお開き願います。

16款県支出金2項県補助金1目総務費県補助金1節市町村振興総合補助金のうち、市町村交通安全対策推進事業費補助26万1,000円を計上しております。

17ページをごらんください。

同じく4節石油貯蔵施設立地対策費補助金は、1,179万6,000円を計上しておりますが、道路維持費の特定財源となるものでございます。

18ページをお開き願います。

3目衛生費県補助金4節みやぎ環境交付金でございますが、みやぎ環境税を活用し交付されているもので、前年度より3.6%増の506万8,000円を計上しております。こちらにつきましては、市町村が実施する地域の良好な環境の保全等に要する経費に対し、県より交付されるもの

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

であり、平成28年度におきましては利府第三小学校をLED蛍光灯に交換するものでございます。

続いて、歳出について御説明申し上げます。

38ページをお開き願います。

2款総務費1項総務管理費10目交通指導員費でございますが、前年度より3.1%減の302万9,000円を計上しております。

同じく11目交通安全対策費でございますが、交通安全対策特別交付金活用による、カーブミラーなどの道路安全施設の整備など、交通安全対策に要する経費として前年度並みの596万円を計上しております。

同じく12目防犯費でございますが、防犯灯の町管理経費及び町内会設置事業補助金など345万円を計上しております。

次に、79ページをお開き願います。

4款衛生費1項保健衛生費6目環境衛生費でございますが、前年度より128万6,000円増の3,423万5,000円を計上しております。増額の主な理由としましては、職員人件費の1名分の増によるものでございます。

次に、80ページをお開き願います。

同じく10目墓地事業費でございますが、前年度より4,798万4,000円減の400万円を計上してございます。繰出金につきましては、町営墓地特別会計記載繰入金に対する利子償還金及び予備費として繰出すものでございます。

次に、4款衛生費2項清掃費1目清掃総務費でございます。前年度より3.4%増の3億705万7,000円を計上しております。増額の主な理由といたしましては、宮城東部衛生処理組合における処理施設の維持管理費の増によるものであります。

81ページをごらんください。

2目塵芥処理費でございますが、前年度とほぼ同額の9,382万4,000円を計上しております。主なものといたしましては、塵芥収集業務委託料として前年と同額の9,300万円を計上しております。

次に、101ページをお開き願います。

9款消防費1項消防費1目非常備消防費でございますが、前年度より23.5%減の1,610万2,000円を計上しております。減額の主なものは、消防団ポンプ積載車購入事業の減によるものであります。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

19節負担金補助及び交付金でございますが、102ページをお開き願います。

説明の欄、3行目に宮城県林野火災防御訓練26万7,000円を計上しております。こちらは、平成28年度において、塩釜地区が訓練輪番に当たることから、塩釜地区消防事務組合構成市町負担金であります。なお、防御訓練は本年4月に本町グランディ21の駐車場で開催予定となっております。

同じく2目消防施設費でございます。塩釜地区消防事務組合負担金など、前年度並みの3億5,171万7,000円を計上しております。

同じく4目防災費でございますが、前年度より18.2%増の6,400万円を計上しております。増額の主なものは、職員人件費の増によるものであります。

以上で一般会計の説明を終わらせていただきます。

続いて、利府町町営墓地特別会計予算を御説明申し上げます。

利府町各種会計予算説明書②の75、76ページをお開き願います。

利府町各種会計予算説明書の平成28年度利府町町営墓地特別会計歳入歳出予算の総額は、400万円でございます。前年度より1億9,958万4,000円の減額となっております。

77ページをごらんください。

1款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金でございますが、一般会計より400万円を繰り入れるものでございます。

次に、78ページをお開き願います。

歳出の主なものにつきましては、2款公債費1項公債費1目利子として、起債借入金総額1億6,450万円に対する利子償還金299万9,000円を計上しております。

また、3款予備費1項予備費1目予備費として100万円を計上しております。

以上が利府町町営墓地特別会計予算の概要でございます。

これで、生活安全課所管の平成28年度各種会計予算の説明を終わらせていただきます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（後藤 哲君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。質疑の発言を許します。質疑ありませんか。10番鈴木忠美委員。

○鈴木忠美委員 ページ38ページ、節の15、工事請負費、先ほどちょっと課長の説明がありましたけれども、交通安全施設整備ということでお話がありましたけれども、この辺は多分今の話の中でもカーブミラーとかいろいろあるんだということだけれども、この辺はカーブミラーとかあるいは道路標示とかいろいろあるわけですね。これのある程度つける位置とかという案と

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

いうのは出ているんでしょうか。あとはどれぐらいつけるかというやつ。

次に、次のページ、39ページで19節の負担金補助の負担の中で、一番下の防犯灯設置ということで37万5,000円ということでありました。これも多分町であるいは町内会からという中で今説明があったけれども、この辺についても設置場所とか設置数というのがある程度みえるのかちょっとお伺いします。

最後に消防関係でお聞きします。これはページ101ページ、101ページの9款1項、節でこれは11、需用費の欄で、消耗品に対して226万8,000円というのが出ております。去年のやつをみると去年が139万3,000円ということで、去年は確か長靴とか何かを配ったように聞いております。去年の団員数も114名、ことしも114名ということですがけれども、今長靴ということで割り出してみると、去年は長靴だけではないと今割り出してみたら1万2,000何ぼくらい、そんなに高い長靴はないと思うのでその辺のやつと、それからことしがちょっと額が上がっていますので、その辺のところをちょっと教えていただきたいと思えます。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。鈴木班長。

○生活安全課防災安全班長（鈴木則昭君） 10番鈴木忠美委員の御質問、2款に関する御質問にお答えを申し上げます。

まず1点目、38ページ15節、工事請負費の設置箇所が決まっているかということでございますが、一応ものとしてはカーブミラー、区画線、街灯等を予定しておりますが、今年度要望がありましたものについては、大体対応済みでございます。今後、要望があったりあとは区画線については消えたりして見えなくなっているもの等についてこちらの予算の中で整備してまいりたいと思っております。

続きまして39ページ19節負担金の防犯灯設置事業でございます。こちらについては、町内会が設置する防犯灯に対する補助でございます。予算的に箇所数につきましては、LEDの防犯灯を9灯分見込んでおまして、それに専用柱を立てたいというところもありますので、専用柱分3本ということで、箇所については9カ所分の計上になっております。こちらにつきましては、町内会さんのほうから来年度の要望を吸い上げてそれに基づいての予算執行をしてまいりたいと考えて居るところでございます。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） 3点目、鈴木主幹。

○生活安全課防災安全班主幹（鈴木厚広君） それでは10番鈴木委員の3点目の9款に関する御質問につきましてお答えを申し上げます。

予算説明書の101ページ、9款1項1目11節需用費の中の1細節消耗費に226万8,000円の御

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

質問でございます。こちらにつきましては、平成27年度は消防団員用の長靴の経費を計上しておりました。平成28年度につきましては、消防団員の装備費といたしまして編み上げ靴というものです、ひもで足首を結ぶものなんですけれども、そちらのほうが大体1万3,000円ぐらいで113人分ということで計上させていただいております。そちらのほうの差額となっております。以上です。

○委員長（後藤 哲君） 鈴木忠美委員。

○鈴木忠美委員 今お答えいただきました。今施設にある質問した交通安全の施設の整備工事関係、それから次に質問した街灯、これは防犯灯関係、これはこれから各町内から上がってきた分に対しての予算であるということで、まだ確定はしていないということですよ。それで順次上がってきた段階、あるいは玉切れとかしたところに対しての予算ということで立てているということによろしいですね。

そして、あと今最後消防関係ということで、編み上げということで、大体1万3,000円ぐらいあれば出てくるのかなということだけれども、全員に配るということですね。何か今まで長靴があまりみすぼらしいなと思っていたら今度は編み上げなら消防の人がうんと働きやすくなっていくと思うので、あとは同じ質問をお願いします。

○委員長（後藤 哲君） では答弁、鈴木班長。

○生活安全課防災安全班長（鈴木則昭君） それでは再質問にお答えを申し上げます。

防犯灯の設置補助金でございますが、町内会から事前に要望を聴取しております。ですから、この予算についてはほぼ執行する町内会が確定している状況でございます。その新設に対する補助でございますので、玉切れ等については管理する町内会さんのほうで交換していただくような形になっています。そのほか支援班のほうで、防犯灯の電気料に対しては町の総合補助金の中で2分の1補助をするということで、そちらは別途計上しておりますので、こちらについては新設に対する補助金ということで御理解いただきたいと思っております。

○委員長（後藤 哲君） 鈴木忠美委員。

○鈴木忠美委員 ということは、これは全て今までも各町内から上がってきたやつのそれに、これまで上がってきて新年度に設置するということがよろしいわけですよ、今のお答えを聞くと。そういうことですね。（「はい」の声あり）一応答えもらったほうがいいね。

○委員長（後藤 哲君） 鈴木班長。

○生活安全課防災安全班長（鈴木則昭君） 御質問のとおり、当初予算編成の段階で来年度のあくまでも町内会の希望なので、実際設置するかどうかというところは、一応希望の調査をして

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

吸い上げた結果で予算計上しているところでございます。そのほか緊急性とか、ほかに要望があれば補正予算等で対応したいと考えております。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 1点だけお願いいたします。

38ページ、12目の1節ですね、報酬で安全で安心して暮らせるまちづくり推進協議会委員14名分で9万3,000円と上がっております。昨年も同じ協議会がございまして報酬額も同じでした。多分1回だけの協議会が開かれる分だと思えますけれども、この協議会の内容とそれからいつから始まった協議会なのか、それともう1点、委員の構成をお願いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。鈴木班長。

○生活安全課防災安全班長（鈴木則昭君） 14番遠藤委員の御質問にお答えいたします。

安全で安心して暮らせるまちづくり推進協議会委員の報酬及び費用弁償を計上させていただいております。こちらにつきましては、震災後におきまして協議会の開催を中止していました。それで、こちらにつきましては、安全で安心して暮らせるまちづくり推進計画というものを、計画を策定して計画を推進していくというふうな協議会になっておりますが、震災後業務手薄になった関係上、計画の策定を中断していたということで、今現在計画が中断している状況でございます。つきまして、平成28年度において新たな計画を策定し、推進していきたいと考えているところでございます。構成につきましては、町内会関係の団体の代表者、あと警察官、消防職員、町の関係課の職員、そのほか社会福祉協議会であったり老人クラブ連合会であったりということで、町長が委員長になるということで構成をしております。一応構成人員については25人以内で設置するというので、委員構成も含めて来年度新たに委員構成をいたしまして協議会を開催してまいりたいと考えております。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） 14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 今の御説明でちょっとわからなかったんですが、この協議会ができたのは震災前からできてはいたと。それで安全で安心して暮らせるまちづくりの計画を立てると。ただ、震災後は中止であった。そして28年度新たに委員を選出してこの計画をつくることに向かって進んでいくという内容でよろしいんですね。昨年も予算で計上されておりましたが、昨年は1度も会議は開かれなかったということでしょうか。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁。鈴木安全班長。

○生活安全課防災安全班長（鈴木則昭君） 遠藤委員の再質問にお答えを申し上げます。

委員おっしゃるとおり、27年度につきましても予算は計上しておりました。開催する予定で

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

当初予算的には予算措置をしていたということでございますが、防災安全班の職員現在1名減に、手薄になっていましてちょっとそちらまで策定までになかなか事務が行き届かなかったということで、今年度の策定は見送ったところでございます。28年度において改めて委員を設置して策定を進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 安全で安心というのは、町長からもたびたび出る言葉でございますから、この計画策定というものはおざなりではなくきっちりやっていたきたいと思いますし、町長がこの委員長として25人以内で委員を決めるということでしたけれども、この中で想像するのにやはり女性の割合は少ないんだろうなと思っております。その辺りでぜひ女性の人数も考慮した委員というのを選出していただきたいと思いますが、この辺のお考えをお願いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 防災安全班鈴木班長。

○生活安全課防災安全班長（鈴木則昭君） お答え申し上げます。

現在、各種協議会の委員等を選任する場合、女性の比率を高めるということで、国を挙げてそういう方向になってきておりますし、町のほうでも極力女性の比率を高めるというふうな形で通達が来ておりますので、できる限り、ただ、委員も御承知だとは思いますが、どうしても団体の長であったりとかそういうふうな形で団体に推薦依頼をするということになりますので、どうしてもこちらの思惑どおりいかどうかというところは難しいところですが、極力女性の方の意見を取り入れるということは、それは必須条件となっておりますのでそのような形で努力したいと思います。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。8番吉岡委員。

○吉岡伸二郎委員 81ページの19節負担金のところで説明がなかったのでお尋ねいたします。その中の新斎場建設事業費3,258万1,000円上がっておりますが、去年も同じぐらいの金額が上がっていたと思います。これは二市三町による積立金新斎場建設に向かった積立金だと思うんですけども、供用開始が確か30年目標だったと思うんですけども、この積立金は30年まで続くんでしょうか。積立金の合計予定金額というのは幾らになっているか教えてください。それと、あと今申しましたように30年の供用開始目標だったんですけども、今の状況では30年供用開始は非常に難しいのではないかと思われるんですけども、その辺は消防組合のほうからどのような説明がなされているのかお願いします。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。環境生活班鈴木班長。

○生活安全課環境生活班長（鈴木啓義君） 8番吉岡委員の御質問にお答えいたします。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

まず斎場の負担金でございますが、斎場の負担金につきましては、新斎場積立金として積み立てているところでございます。ただいま御質問の平成30年まで積み立てるということで建設の一部にしていくということでございますが、工事費そのものの総枠がまだ定まっておられないので、30年でいったん切れるのかどうかというのもまだ不明確でございます。積立に対する今までの総額でございますが、ちょっと環境組合の消防のほうで年度末の残高としましては平成27年度で2億7,656万2,000円の積み立てがございます。

平成30年度を見込んで移転するというような運びになっておりますが、現在袖野田地区で斎場を運転しております。利府町の斎場建設予定地につきましては、住民説明会を実施しまして、現在新斎場の希望設計が打ち出されたというところでございまして、まだ工事には至っておりません。今後、住民説明会、あと懇談会を来年度に向けて行う予定というふうにお伺いしております。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） 吉岡委員。

○吉岡伸二郎委員 27年度までの積み立ては2億7,000万というのがしというのは、これは二市三町の積み立てですよね。利府町だけじゃなくて。というふうに理解してよろしいんですか。30年まで積み立てていくと、それで工事費が決まり次第またその増額があるかもわからないというふうに理解してよろしいのでしょうか。

○委員長（後藤 哲君） 村田課長。

○生活安全課長（村田政文君） 8番吉岡委員にお答えいたします。

斎場建設に伴う基金の積み立てにつきましては先ほど班長から申し上げましたとおり、27年度末におきます金額が2億7,656万2,000円、また28年度末見込み額といたしまして4億4,231万2,000円ということで構成市町全てに伴う全額金額ということでございます。

またあと先ほどの30年建設に向けての今後の取り組みというお話になるかと思いますが、こちらにつきましては、吉岡委員御承知のとおり平成6年ですが、袖野田にございます現斎場の部分の住民との協定に伴いまして、新たな建設地候補を決定してきた経緯があるということで、現在27年度におきましては赤沼地区、浜田地区、また須賀地区ということで関係する皆さん方で懇談会を5月、6月の2度ほど開催しております。その中で各委員の皆様から意見としてまとめたものが現斎場の建設だけではなく周辺土地利用も合わせたもので青写真的なものを提示していただけないかということで、その懇談会につきましては今現在中断している状況になっております。それで今現在塩釜地区消防事務組合の事務局が中心となって、今基本計画の業務が進められている最中ございまして、今県の関係機関と協議を重ねている状況でござい

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

ます。それで30年度の目標ということでは、その部分については裾野田、今現在の町内会に対しての30年ということでお話を進めてきておりますし、また、そちらの30年の目標につきましては、赤沼、浜田、須賀の懇談会の委員の皆様にもその部分については、一応の今後のスケジュールということで説明は申し上げておりますし、また事務組合の事務局ではその目標を30年と捉えまして、今まさに取り組んでいる最中ということで御理解をいただきたいというふうに考えているところでございます。

○委員長（後藤 哲君） 吉岡委員。

○吉岡伸二郎委員 負担金のほうは4億なにがしということで、まだまだ足りないと思われまして、30年まで積み立てたととしても、10億ちょっと越えぐらいかなという感じだと思うんですけども、そうしたら足りない金額はそれ相応に町も負担していくというふうに解釈してよろしいんでしょうか。それと30年供用に向かって鋭意努力しているということなんですけれども、これは物理的に考えてほとんど不可能だと思うんですね。僕が聞いたかったのは、消防組合のほうからそれに対して事前の打ち合わせというか日程的な青写真も町のほうに示されているのかどうかというのを聞いたかったんですけれども。

○委員長（後藤 哲君） 村田課長。

○生活安全課長（村田政文君） 吉岡委員にお答えいたします。

基金の積立期間につきましては、まだ建設費の総額が捉えられておりません。ですので30年を目標にした場合の建設費の負担金につきましては今後、正副管理者会または事務局のほうで内容等が精査されたもので皆様に議論いただき検討していただいた中で進められていくものというふうに考えているところでございます。またあと30年の供用開始につきましては、物理的にスケジュール的に厳しいのではないかと御意見だと思うんですけれども、そちらにつきましても当初30年を目標に掲げているということで、今そこを何とか達成できるように事務局としては県の関係機関と協議を進めてきておりまして、その部分につきましては順次正副管理者会または関係議会等の理解をいただいた上で地元への説明会等に移行していくものというふうに考えているところでございます。

○吉岡伸二郎委員 消防組合から説明はないというように理解していいんですね。

○委員長（後藤 哲君） 村田課長。

○生活安全課長（村田政文君） 吉岡委員にお答えいたします。

消防事務組合からのその辺のスケジュール的な部分、全体のスケジュールにつきましては前段で説明はいただいているんですけれども、今まさに進行途中と言ったらいいいんですかね、そ

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

このいろいろ状況が変化してきていますので、その辺の改めたものでのスケジュールということでは、30年から変わったものについてはまだ内容等の説明は受けておりません。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。

質疑がありませんので以上で生活安全課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

ここで暫時休憩をします。

再開は13時55分とします。

午後13時43分 休憩

午後13時52分 再開

○委員長（後藤 哲君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により上下水道課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、上下水道課長より本日出席している説明員の紹介を願います。阿部課長。

○上下水道課長（阿部義弘君） お疲れ様です。それでは、上下水道課の本日出席しております説明員を御紹介いたします。

最初に経営班から紹介いたします。経営班長の鈴木義光です。（「鈴木です。よろしく願いいたします」の声あり）

主任主査の小野寺厚人でございます。（「小野寺です。よろしく願いいたします」の声あり）

主査の佐藤 恵です。（「佐藤です。よろしく願います」の声あり）

次に、工務班を紹介いたします。工務班長の名取仁志です。（「名取です。よろしく願います」の声あり）

主任主査の櫻井新也でございます。（「櫻井です。よろしく願います」の声あり）

主査の後藤俊寿でございます。（「後藤です。よろしく願いいたします」の声あり）

最後に、私、上下水道課長の阿部義弘であります。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（後藤 哲君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。上下水道課長。

○上下水道課長（阿部義弘君） それでは、上下水道課の平成28年度当初予算について御説明申し上げます。

初めに一般会計、次に下水道特別会計、最後に水道事業会計の順で御説明申し上げます。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

説明に当たりましては、主に前年度と違う点を中心に説明いたします。

お手元の各種会計予算説明書①の14ページをお開きください。

最初に、一般会計の歳入でございますが、15款2項3目衛生費国庫補助金の2節合併処理浄化槽設置費補助金82万8,000円につきましては、前年度と同様の7人槽6基分を計上しております。内訳としましては、補助基本額が41万4,000円で補助率が3分の1ですので、1基当たり13万8,000円の6基分となっております。

次に、歳出でございますが、80ページをお開きください。

4款1項8目浄化槽費の19節負担金、補助及び交付金のうち補助金であります。合併処理浄化槽維持管理事業補助金として154基分359万8,000円を、また合併処理浄化槽設置事業補助金として7人槽6基分456万円を計上しております。補助金の内訳でございますが、維持管理事業補助金につきましては、8人槽以上が1件当たり2万7,000円の42件分、7人槽以下が1件当たり2万2,000円の112件分となっております。設置事業補助金につきましては、5人槽で65万円、7人槽で76万円、8人槽以上で105万円となっております。予算計上につきましては、先ほど説明したとおり7人槽6基分を計上しているものであります。

次の9目上水道費の28節繰出金と、98ページをお開きください。

8款4項2目公共下水道費の28節繰出金につきましては、ともに総務省の繰り出し基準に基づきまして、それぞれの会計に繰り出すものであります。

以上が上下水道課に関連する一般会計予算となっております。

続きまして、下水道特別会計について御説明申し上げます。

各種会計予算説明書②の53ページをお開きください。

平成28年度下水道特別会計予算の総額は、53ページの歳入、54ページの歳出、それぞれ9億3,433万8,000円で、前年度と比較して2.1%の減となっております。

それでは、歳入から御説明いたします。

55ページをごらんください。

1款1項1目下水道使用料につきましては、前年度と比較して566万4,000円の増額となっております。これは、工場排水は減少傾向にあるものの、人口の増による一般排水及び新幹線車両基地分での増を見込んでいるため、増額計上としたものであります。

2款1項1目下水道事業費国庫補助金につきましては、前年度と比較して900万円増の3,350万円を計上しております。説明の欄の社会資本整備総合交付金事業につきましては公共下水道の整備等に対する交付金となっております。防災・安全交付金事業につきましては、環境の長

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

寿命化を図るための補修工事を予定しているものです。なお補助率につきましてはともに2分の1となっております。

3款1項1目一般会計繰入金につきましては、前年度と比較して4,987万2,000円減の3億581万4,000円となっております。これは、浜田地区水路改修事業に要する震災復興交付金等の経費のほか、総務省の繰出基準に基づき一般会計から繰り入れするものです。

56ページをお開きください。

6款町債につきましては、前年度と比較して1,550万円増の1億8,290万円を計上しております。下水道事業債として起債している3事業について借り入れを予定しているものであります。増額の主な分といたしましては、下水道事業の公営企業法の適用を進めるための財源として、増額するものであります。下水道事業につきましては、国から人口3万人以上の団体に対し平成31年度末までに水道事業会計と同様の公営企業会計に移行するよう要請されているものであります。本町といたしましても、平成28年度から固定資産台帳の整備や財務会計システム等の整備を行っていきたいと考えております。なお、地方債の充当率は100%であり、元利償還金の一部が普通交付税措置されることになっております。

続きまして、歳出を御説明いたします。

57ページをごらんください。

1款1項1目一般管理費につきましては、前年度と比較して1,636万7,000円増の7,066万円を計上しております。増額となった主な理由といたしましては、歳入の町債でも御説明いたしましたが、13節委託料の地方公営企業法適用支援業務委託料を新たに計上したためであります。

58ページをお開きください。

2款1項1目公共下水道建設費につきましては、前年度と比較して391万4,000円増の8,077万3,000円を計上しております。増額となった主な理由といたしましては、15節工事請負費において、赤沼汚水枝線工事を予定しているものであります。なお、事業概要につきましては別冊の当初予算関係補足説明資料、92ページの下水建設事業に記載しておりますので、御確認願います。

予算書②にお戻りいただきます。59ページをごらんください。

2款2項1目下水道管渠管理費につきましては、前年度と比較して1,354万3,000円増の2億3,473万1,000円を計上しております。増額の主な理由といたしましては、次の60ページの15節工事請負費管渠等長寿命化対策補修工事につきましては、前年度までに行った汚水管渠調査や長寿命化計画策定により、歳入の国庫補助金で説明いたしました防災安全交付金を活用して行

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

う工事となっております。概要につきましては、補足説明資料の先ほどと同じ92ページ記載の3下水道管理事業のとおりマンホール補修や管渠補修を予定しております。

予算説明書の②の60ページにお戻りください。

19節負担金補助及び交付金であります。仙塩流域下水道維持管理負担金及び総合利用負担金につきましては、市町村負担金の単価が改正されたことによるものとなっております。

61ページをごらんください。

2款3項1目下水道復興推進費につきましては、前年度と比較して3,959万円減の2億4,142万4,000円を計上しております。これは継続費事業として進めてまいりました浜田地区水路改修事業の進捗状況によるものであり、平成28年度の完成を見込んでいるものです。継続費に係る年割額及び事業の進行状況等につきましては、68ページの調書のとおりとなっております。また概要につきましては、補足説明資料の先ほどと同じ92ページの4下水道復興推進事業に記載しているとおりとなっております。

予算説明書②の61ページにお戻りください。

3款1項1目流域下水道費につきましては、前年度と比較して631万7,000円減の1,311万2,000円を計上しております。これは仙塩浄化センターの事業費の減により、建設負担金が減額となっているものです。

4款公債費につきましては、元金及び次の62ページの利子の合計で前年度と比較して761万6,000円減の2億9,263万8,000円の償還を予定しております。

73ページをお開きください。

平成28年度末の地方債残高につきましては、右下の合計欄に記載しておりますとおり31億7,169万4,000円を見込んでおり、前年度末現在高と比較しますと4,819万7,000円の減となっております。

以上が下水道特別会計予算の概要となっております。

続きまして、水道事業会計予算について御説明申し上げます。

初めに、薄いほうの冊子、各種会計予算書の37ページをお開きください。

平成28年度の業務の予定量といたしましては、第2条にありますように、給水戸数は前年度と比較して236戸増の1万3,018戸とはしているものの、年間総配水量は近年の節水型機器や循環型機器等の普及等による需要の伸び悩みなどから、前年度とほぼ同様の配水量404万2,445立方メートルとしているものであります。一日平均配水量は1万1,075立方メートルと見込んでおり、また水源の内訳としましては約8割が広域水道からの受水、残りの約2割が自己水源と

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

見込んでおります。なお、平成28年度の仙南仙塩広域水道からの受水に係る契約水量は一日当たりの最大給水量を1万700立方メートルとしているものであります。

38ページをお開きください。

第5条の債務負担行為につきましては、記載しております事業が平成28年度内に賃貸借期間が満了となることから債務負担行為を設定するものです。

39ページをごらんください。

第6条の企業債でございますが、記載しておりますように排水施設整備事業での起債を予定しております。この事業につきましては、白石沢地区整備事業配水管敷設工事に伴い、借入を予定しているものです。

次に、主な概要につきまして各種会計予算説明書②により説明いたします。

104ページをお開きください。

初めに、収益的収入及び支出でございますが、収益的収入の1款水道事業収益につきましては、前年度と比較して0.3%増の10億4,809万3,000円を計上しております。

このうち、1項1目給水収益につきましては、先ほど業務の予定量でも説明いたしましたが、給水戸数等の増により前年度と比較して686万9,000円増の8億9,959万2,000円を計上しております。

2目加入金につきましては、給水装置の新設及び増改築等に係る増径分の合計で180件を見込んでいるものであります。

2項営業外収益につきましては、1億3,284万2,000円を計上しております。このうち5目長期前受け金戻入益につきましては、補助金からその他長期前受け金まで合計で1億377万8,000円を計上しているものであります。これは補助金等で取得した固定資産について、当該年度に減価償却見合い分を収益化したものであり、現金収入を伴わない収益となっております。

105ページをごらんください。

収益的支出でございますが、1款水道事業費用につきましては、前年度と比較して3.3%増の9億3,149万1,000円を計上しております。このうち、1項1目原水及び浄水費につきましては、前年度と比較して1,465万2,000円増の4億5,405万6,000円を計上しております。増額の主な理由としましては、106ページをお願いいたします。106ページの修繕費と負担金の増額によるものとなっております。修繕費につきましては、浄水場の圧力式急速濾過機濾材入れ替え等を実施するものであり、負担金については惣の関ダムの長寿命化対策事業の実施に伴い、管理負担金が増額となるものであります。なお、受水費につきましては年間総排水量の見込みに基

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

づき3億5,503万7,000円を計上しております。

2目配水及び給水費につきましては、配水施設の漏水修繕件数の増などから、前年度と比較して307万3,000円増の5,741万8,000円を計上しております。

107ページをごらんください。

4目総務管理費につきましては、委託料及び賃借料の減などにより、前年度と比較して906万5,000円減の7,135万8,000円を計上しております。

109ページをお開きください。

5目減価償却費につきましては3億876万2,000円を計上しており、前年度と比較して4,576万8,000円の増となっております。増額の主なものとしましては、平成27年度で完了する利府浄水場電気機械設備更新工事に伴う資産の増加によるものとなっております。

2項営業外費用のうち、1目1節企業債利息2,883万7,000円につきましては、企業債残高の減少に伴い前年度と比較して244万2,000円の減となっております。

以上が収益的収支の概要となっております。

続きまして、資本的収入及び支出につきまして御説明いたします。

110ページをお開きください。

1款資本的収入につきましては、前年度と比較して6,927万5,000円増の7,581万6,000円を計上しております。

このうち1項開発負担金につきましては、実績に基づき336万5,000円を見込んでいるものです。また、6項企業債につきましては、先ほど第6条の企業債でも説明いたしましたとおり、白石沢地区整備事業配水管敷設工事での借り入れを予定しているものです。

111ページをごらんください。

1款資本的支出につきましては、前年度と比較して2億9,905万7,000円減の3億5,481万3,000円を計上しております。

このうち1項1目配水施設拡張費の委託料につきましては、利府浄水場監視制御設備等更新設計業務を予定しております。負担金につきましては、仙南仙塩広域水道で実施する利府赤沼受水地ワンループコントローラー修繕に伴う負担金として、369万1,000円を計上しているものです。工事費につきましては、平成26年度から2年の継続費事業により実施してございました利府浄水場電気機械設備更新工事の完了に伴い、前年度と比較して2億8,032万6,000円減の2億759万3,000円を計上し、白石沢地区整備事業配水管敷設工事や利府浄水場圧力水ポンプ交換工事などの工事を予定しております。なお、委託料及び工事費の概要につきましては、別冊の当

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

初予算関係補足説明資料91ページの1配水施設拡張事業に記載しておりますので、御確認願います。

予算説明書②の111ページにお戻りください。

一番下になりますが、2項1目企業債償還金につきましては、元金償還金の増により、前年度と比較しまして244万2,000円増の9,966万4,000円を計上しております。なお、平成28年度末の企業債残高につきましては、11億7,145万2,000円と見込んでおります。

以上のことから、資本的収支においては2億7,899万7,000円の不足額が生じますが、これは過年度分の損益勘定留保資金で補填することにしております。

以上が平成28年度利府町水道事業会計予算の概要であり、これで上下水道課所管の説明を終わらせていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○委員長（後藤 哲君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 それでは数字のほうではなくて、説明資料の91ページ及び93ページの白石沢地区のほうでちょっとお尋ねしたいと思います。こちら1工区ということでの敷設工事が計画されておりますけれども、この全体計画ですね、総延長、事業期間、スケジュール等御説明いただきたいと思えます。

あと、水道管でなくて町全体としてお答えいただきたいんですが、この白石沢地区は今のところ何も無い方向に向かって水道と下水道、下水道も設計のほう入っておりますが、進めていくんですが、ちらほら民間の事業者の開発計画ということは聞こえているんですが、正式にどの辺、どの程度までそういったこの白石沢地区の事業者の進出計画、何事業者が何ヘクタール程度開発するとか、そういった動きがあるのか議会として報告をいただければと思えます。お願いします。

○委員長（後藤 哲君） 当局の答弁を願います。名取班長。

○上下水道課工務班長（名取仁志君） 11番吉田委員の御質問にお答えします。

白石沢の配水管敷設整備事業ですが、全体延長で約1,500メートルございます。事業に関しては3年間、28、29、30年という形で3年間で事業を完了する予定になっております。（「何事業者、民間」の声あり）事業所等に関しては、基本的に開発の部分なので都市整備課所管のほうになるかと思うので、ちょっとうちのほうでは今の段階では捉えておりません。

○委員長（後藤 哲君） 伊藤副町長。

○副町長（伊藤三男君） それではお答えします。

平成28年3月予算審査特別委員会会議録（3月8日火曜日分）

これも今計画策定中ということで、今の物流また工事の関係であそこに入ると、20ヘクタール弱でしたですね、確か。そこを購入地にするということで進んでいます。中に入る企業はこの事業主体というのは民間業者の方なんです、この方が一生懸命今それを取りまとめているという最中のように聞いています。中は確か10社ぐらいの企業が入るというようなことは聞いています。まだこれはあくまでも情報ということで確定ではございませんので、これからいろいろな協議がなされてくるのではないかとということでございます。以上でございます。

○委員長（後藤 哲君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（後藤 哲君） 質疑がありませんので、以上で上下水道課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。

当局は退席願います。

それでは最終日に総括して質疑する事項のとりまとめ並びに現地調査箇所の選定を行います。御意見ありませんか。（「なし」の声あり）

○委員長（後藤 哲君） 総括質疑並びに現地調査がないようですので、これで本日の予算審査特別委員会を散会します。なお、明日9日は午前9時30分から特別委員会を再開しますので、御参集願います。

どうも御苦労さまでした。

午後2時25分 散 会

上記会議の経過は、事務局長阿部善男が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するためここに署名する。

平成28年3月8日

委員長